

北中城村まちづくり基本計画

<報告書>

平成 25 年 3 月

北中城村

目 次

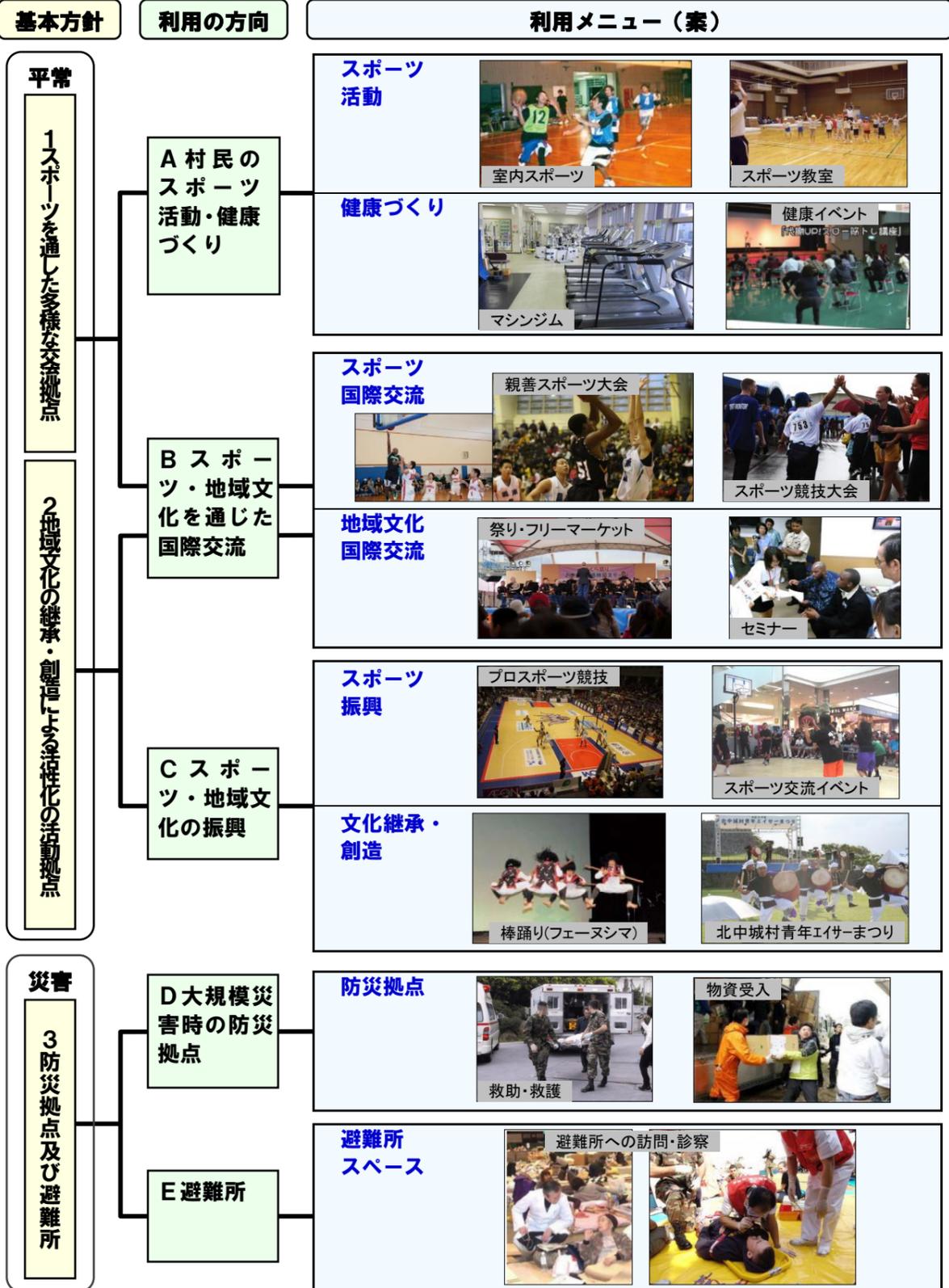
北中城村まちづくり基本計画 [概要版]	1
序章 基本計画の概要	3
序-1 計画の目的.....	3
(1) 目的.....	3
(2) 位置.....	3
序-2 策定のフロー.....	4
第1章 計画条件の整理.....	5
1-1 計画地のまちづくりの概要	5
(1) まちづくりの方向性及びまちづくりの要素	5
(2) 土地利用計画	6
(3) 景観形成	7
(4) まちづくりの要素の実現性.....	8
1-2 対象地区の特性と課題	9
(1) 対象地区の特性.....	9
(2) 地区の課題（多目的アリーナの必要性・妥当性）	13
1-3 整備の基本方針	14
1-4 計画の対象区域.....	16
第2章 多目的アリーナの利用方針（案）	17
2-1 基本的な利用の方向	17
2-2 多目的アリーナ利用の方針（案）	18
(1) 村民のスポーツ活動・健康づくり	18
(2) スポーツ・地域文化を通じた国際交流	18
(3) スポーツ・地域文化の振興.....	18
(4) 大規模災害時の防災拠点	19
(5) 大規模避難所.....	19
第3章 施設整備計画の検討	21
3-1 施設整備方針（案）	21
(1) 基本的な考え方.....	21
(2) 主要施設	21
(3) 施設づくりの方向.....	22
(4) 施設整備方針（案）	23
3-2 施設配置計画（案）	25
(1) ゾーニング.....	25
(2) 施設必要規模の想定	26
(3) 施設配置計画図（案）	28
3-3 動線計画（案）	29
(1) 基本的な考え方.....	29

(2) 動線計画図(案)	30
3-4 植栽環境計画(案)	31
(1) 基本的な考え方.....	31
(2) 植栽環境計画図(案)	31
3-5 施設整備計画図(案)	32
(1) 1階平面図	32
(2) 2階平面図	33
(3) 3階平面図	34
3-6 概算事業費	35
(1) 事業概要	35
(2) 事業収支	35
第4章 管理運営計画の検討	37
4-1 管理運営方式の検討	37
(1) 管理運営方式の比較	37
(2) 指定管理者の団体別特徴	38
(3) 管理運営のスキームの検討	39
4-2 村負担軽減のスキーム検討	41
(1) 指定管理者制度導入効果についての事例考察.....	41
(2) 管理運営事例を踏まえた村負担軽減のスキームの例示.....	45
4-3 管理運営費の試算.....	46
(1) 管理運営費の試算	46
(2) 参考事例	47
第5章 利用促進メニューの検討	51
5-1 村民のスポーツ活動・健康づくり	51
5-2 スポーツ・地域文化を通じた国際交流.....	53
5-3 スポーツ・地域文化振興	56
5-4 大規模災害時の防災拠点	59
5-5 大規模避難所.....	62
第6章 実施計画に向けた課題.....	63
6-1 施設整備.....	63
6-2 管理運営.....	65
参考資料.....	67
参考-1 検討会議の実施	67
(1) 実施概要	67
(2) 主な意見のまとめ.....	68
参考-2 有識者ヒアリングの実施.....	70
参考-3 体育施設の事例の整理	81
(1) 県内の体育施設の整備概要.....	81
(2) 視察候補地.....	83

北中城村まちづくり基本計画 [概要]

施設利用プログラム

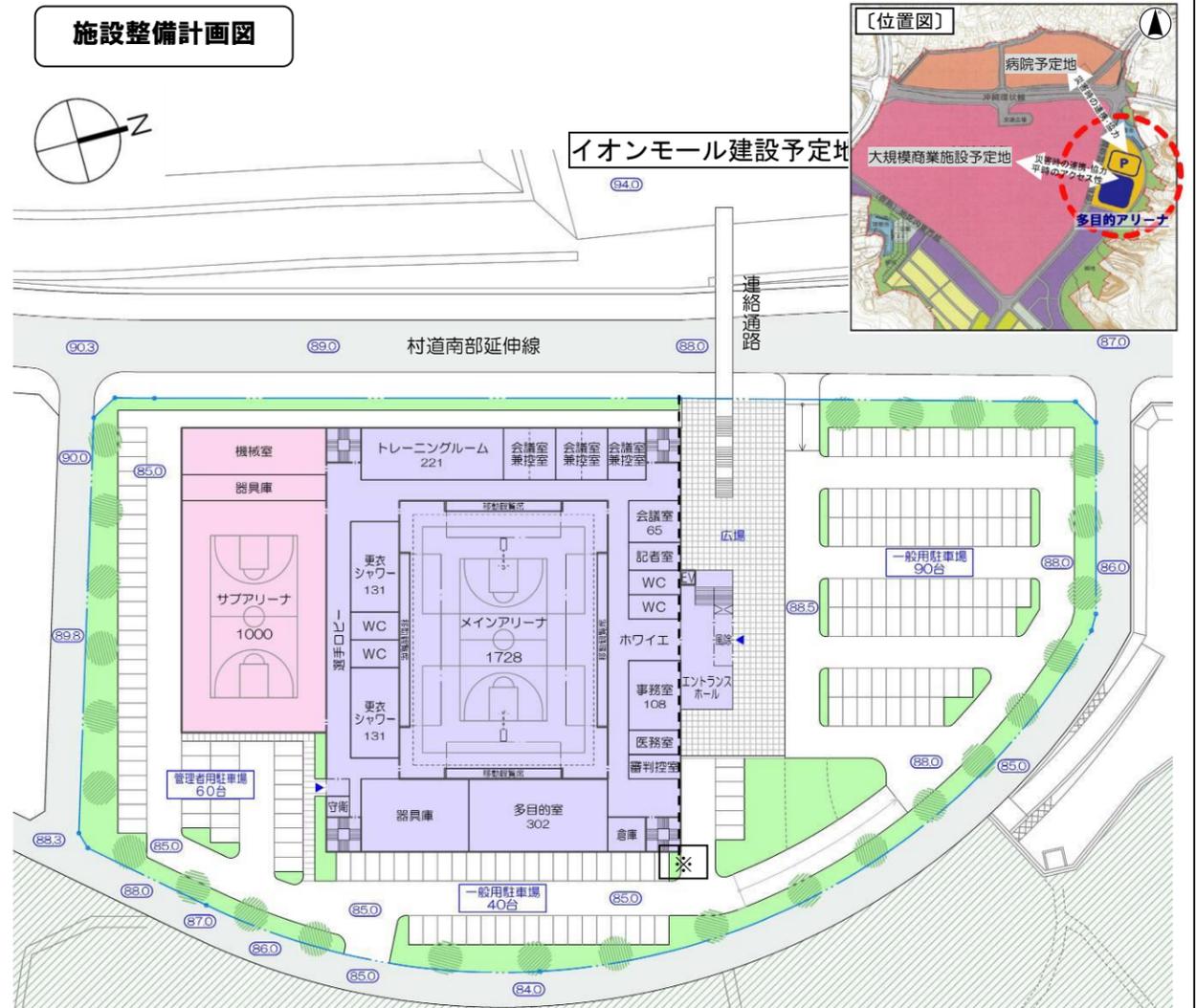
アワセゴルフ場地区総合整備計画のまちづくりの4つの理念として掲げる「環境」、「健康」、「観光」、「防災」のキーワードを軸に施設利用プログラムを展開します。



施設整備計画

施設種別	施設整備の考え方	施設
多目的利用施設	スポーツ活動・健康づくり、国際交流、スポーツ・地域文化の振興、災害時の防災拠点など、多目的な利用に対応できる施設の整備	メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニングルーム、多目的室
活動支援施設	多目的利用に必要な付加的な施設の整備	会議・研修室・応接室、控室、トイレ、更衣室・シャワー室、器具庫
観覧支援施設	スポーツ・地域文化の振興等に資する観覧支援施設の整備	玄関ホール、案内所、観客席、監視室・調光及び音響室
管理サービス施設・防災基盤施設	利用者を主とした管理サービス施設の整備	事務室、放送室、医務室、駐車場、防災備蓄倉庫

施設整備計画図



敷地面積	約 14,900 m ² (4,507 坪)
建築面積	約 6,000 m ² (1,815 坪)
建設費	約 26.5 億円
用地費	約 9 億円

今後の予定

H25	実施計画
H26	実施設計・用地買収
H27	用地買収・工事着工

序章 基本計画の概要

序－1 計画の目的

(1) 目的

北中城村では、平成 22 年 7 月末日に返還され、平成 25 年 3 月 29 日に引渡された駐留軍用地「アワセゴルフ場地区」において土地区画整理事業の実施に向けて準備が進められており、この跡地利用は、北中城村の発展をけん引していくものと期待されている。

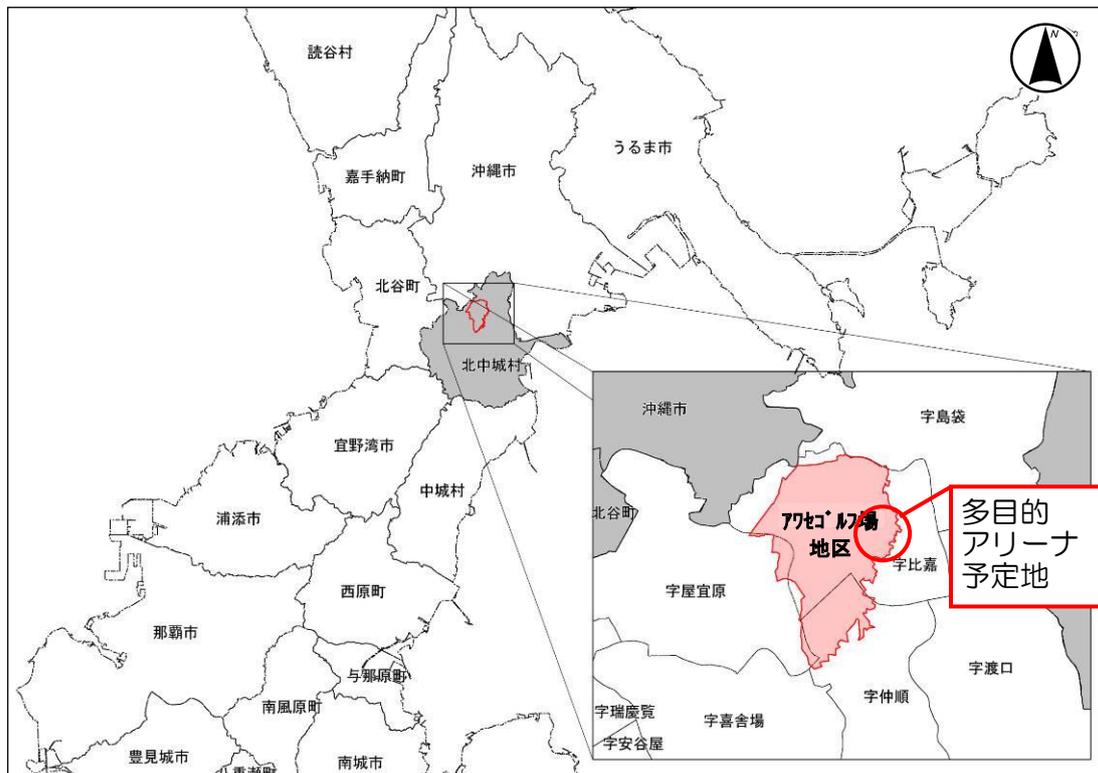
アワセゴルフ場地区の跡地利用については、「アワセゴルフ場地区総合整備計画」において、将来のまちづくりに必要な要素が整理されている。

また、平成 24 年 12 月に「北中城村まちづくり基本構想」により地区のまちづくりに必要な要素を満たす施設として、多目的アリーナが位置づけられた。

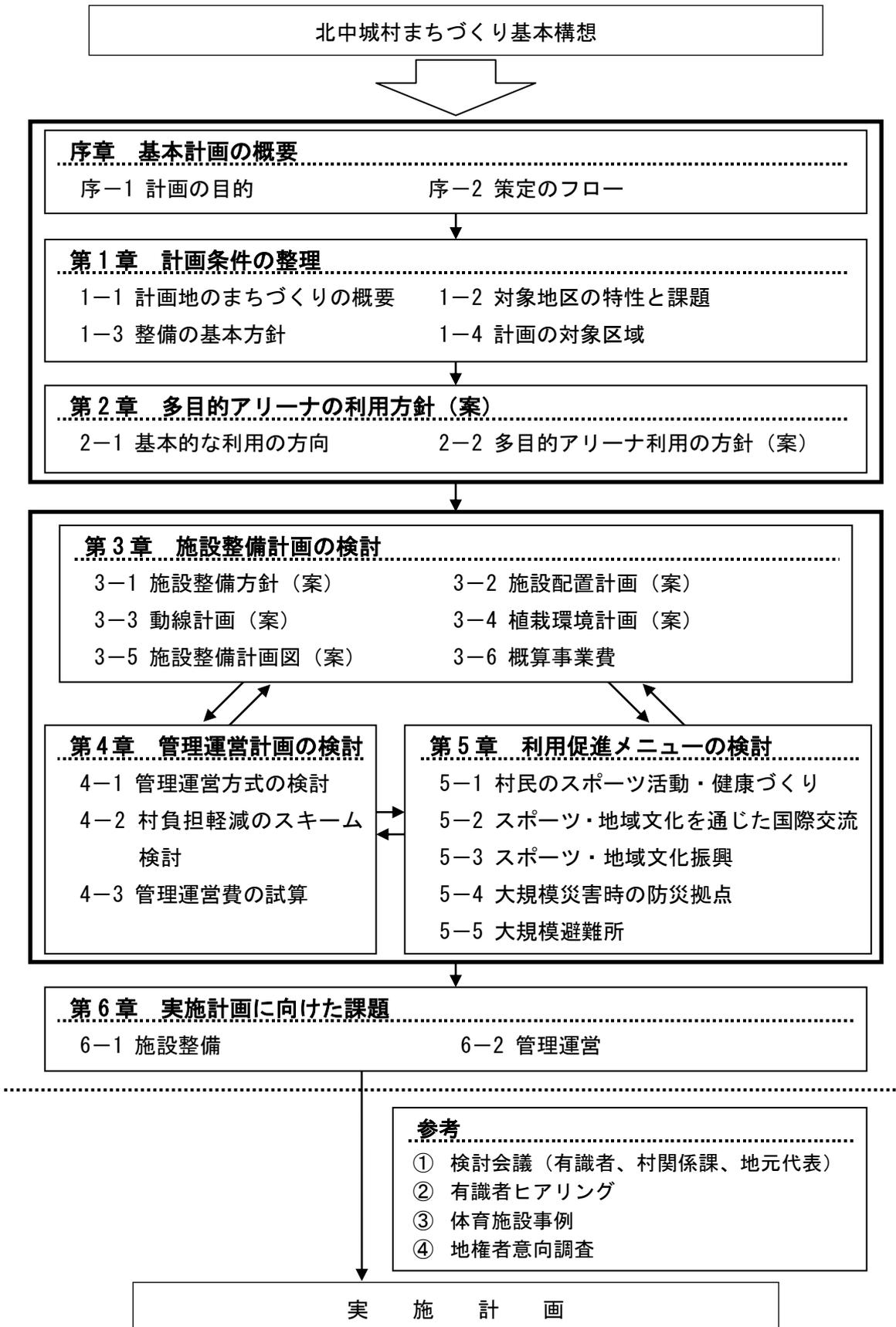
これを踏まえ、本業務は、多目的アリーナの実現化に向け、基本構想に基づき、当該施設の基本計画を策定するものである。

(2) 位置

本基本計画では、駐留軍用地跡地である「アワセゴルフ場地区」を調査対象地区とする。



序-2 策定のフロー



第1章 計画条件の整理

1-1 計画地のまちづくりの概要

(1) まちづくりの方向性及びまちづくりの要素

調査対象地区では、平成23年3月策定され、その後、平成25年3月に見直されたアワセゴルフ場地区総合整備計画において、地区の広域的な位置づけがされ、その中で「まちづくりの方向性」及び「まちづくりの要素」が次のように定められている。

<p>まちづくりの方向性</p>	<p><沖縄県中部圏域における広域交流拠点の形成></p> <p>広域的な視点から周辺市街地や隣接する計画区域等の有する土地利用・交通・排水等の諸計画との調和を図りつつ、<u>沖縄県中部圏域における多様な拠点となる地域の形成</u>を目指す。</p> <p><北中城村の新たな顔となる拠点の形成></p> <p>本村における今後のまちづくりの展開に寄与すべく、地域の持つ環境・風土・文化等との調和のとれた<u>新たな顔となる多様な交流拠点</u>を目指す</p>															
<p>まちづくりの要素</p>	<p>「広域交流拠点」「村の新たな顔となる拠点」の形成のため、まちづくりに必要な要素を以下のとおり整理する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">《4つの理念》</th> <th style="width: 40%;">《キーワード》</th> <th style="width: 40%;">《必要な要素》</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"> <p>環境を創造する交流拠点</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境の保全・再生 ● 地域特性を活かす ● 良好な景観の形成 ● 道路環境の整備 ● 公共交通の利用 ● 地球環境への配慮 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 公園・緑地の整備 ● 緑の保全と緑化の推進 ● 眺望・オーシャンビュー ● 地域の歴史、文化、産物 ● 環境共生・省エネ ● 道路網、植栽、浸透舗装 ● 公共交通（バス、タクシー等） ● 景観配慮指針 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <p>健康を増進する交流拠点</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 健やかで文化的な生活 ● 安全・安心のコミュニティ ● 健康スポーツの推進 ● 長寿、子育て等の福祉の充実 ● 食の安全 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 生活利便・防災、防犯 ● 良好な住環境 ● バリアフリー化 ● 医療、福祉施設 ● 健康増進・スポーツ施設 ● 子育て支援・休息・癒し ● 農産品等の直売 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <p>観光を振興する交流拠点</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● リゾートジョギングの拠点 ● 沖縄文化とのふれあいの場 ● 滞在型観光の推進 ● スポーツミュージアム ● 魅力ある空間の創造 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 買い物・沖縄土産 ● 食事、沖縄料理・宴会 ● 地産地消・ミュージアム ● 映画・音楽・踊り ● リゾートホテル ● リゾートマンション ● セカンドハウス ● スポーツ交流 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <p>安全安心を確保する地域防災拠点</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 避難路の確保 ● 緊急輸送ネットワークの確保 ● オープンスペースの確保 ● 避難場所の確保 ● 耐震性能の確保 ● 備蓄品・資機材の確保 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全な交通環境の整備 ● 公園・緑地の整備 ● 避難施設の整備 ● 災害の危険性の低い場所 ● 建物の耐震化 ● 案内表示（看板等） ● 防災マップ・ハザードマップ ● 情報伝達、連絡系統の整備 ● 防災倉庫の整備及び点検 ● 防災訓練 </td> </tr> </tbody> </table>	《4つの理念》	《キーワード》	《必要な要素》	<p>環境を創造する交流拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境の保全・再生 ● 地域特性を活かす ● 良好な景観の形成 ● 道路環境の整備 ● 公共交通の利用 ● 地球環境への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園・緑地の整備 ● 緑の保全と緑化の推進 ● 眺望・オーシャンビュー ● 地域の歴史、文化、産物 ● 環境共生・省エネ ● 道路網、植栽、浸透舗装 ● 公共交通（バス、タクシー等） ● 景観配慮指針 	<p>健康を増進する交流拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 健やかで文化的な生活 ● 安全・安心のコミュニティ ● 健康スポーツの推進 ● 長寿、子育て等の福祉の充実 ● 食の安全 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活利便・防災、防犯 ● 良好な住環境 ● バリアフリー化 ● 医療、福祉施設 ● 健康増進・スポーツ施設 ● 子育て支援・休息・癒し ● 農産品等の直売 	<p>観光を振興する交流拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● リゾートジョギングの拠点 ● 沖縄文化とのふれあいの場 ● 滞在型観光の推進 ● スポーツミュージアム ● 魅力ある空間の創造 	<ul style="list-style-type: none"> ● 買い物・沖縄土産 ● 食事、沖縄料理・宴会 ● 地産地消・ミュージアム ● 映画・音楽・踊り ● リゾートホテル ● リゾートマンション ● セカンドハウス ● スポーツ交流 	<p>安全安心を確保する地域防災拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難路の確保 ● 緊急輸送ネットワークの確保 ● オープンスペースの確保 ● 避難場所の確保 ● 耐震性能の確保 ● 備蓄品・資機材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な交通環境の整備 ● 公園・緑地の整備 ● 避難施設の整備 ● 災害の危険性の低い場所 ● 建物の耐震化 ● 案内表示（看板等） ● 防災マップ・ハザードマップ ● 情報伝達、連絡系統の整備 ● 防災倉庫の整備及び点検 ● 防災訓練
《4つの理念》	《キーワード》	《必要な要素》														
<p>環境を創造する交流拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然環境の保全・再生 ● 地域特性を活かす ● 良好な景観の形成 ● 道路環境の整備 ● 公共交通の利用 ● 地球環境への配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ● 公園・緑地の整備 ● 緑の保全と緑化の推進 ● 眺望・オーシャンビュー ● 地域の歴史、文化、産物 ● 環境共生・省エネ ● 道路網、植栽、浸透舗装 ● 公共交通（バス、タクシー等） ● 景観配慮指針 														
<p>健康を増進する交流拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 健やかで文化的な生活 ● 安全・安心のコミュニティ ● 健康スポーツの推進 ● 長寿、子育て等の福祉の充実 ● 食の安全 	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活利便・防災、防犯 ● 良好な住環境 ● バリアフリー化 ● 医療、福祉施設 ● 健康増進・スポーツ施設 ● 子育て支援・休息・癒し ● 農産品等の直売 														
<p>観光を振興する交流拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● リゾートジョギングの拠点 ● 沖縄文化とのふれあいの場 ● 滞在型観光の推進 ● スポーツミュージアム ● 魅力ある空間の創造 	<ul style="list-style-type: none"> ● 買い物・沖縄土産 ● 食事、沖縄料理・宴会 ● 地産地消・ミュージアム ● 映画・音楽・踊り ● リゾートホテル ● リゾートマンション ● セカンドハウス ● スポーツ交流 														
<p>安全安心を確保する地域防災拠点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難路の確保 ● 緊急輸送ネットワークの確保 ● オープンスペースの確保 ● 避難場所の確保 ● 耐震性能の確保 ● 備蓄品・資機材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全な交通環境の整備 ● 公園・緑地の整備 ● 避難施設の整備 ● 災害の危険性の低い場所 ● 建物の耐震化 ● 案内表示（看板等） ● 防災マップ・ハザードマップ ● 情報伝達、連絡系統の整備 ● 防災倉庫の整備及び点検 ● 防災訓練 														

資料：アワセゴルフ場地区総合整備計画（平成25年3月）

(2) 土地利用計画

調査対象地区では土地区画整理事業の実施に向けて準備が進められており、土地利用計画及び計画人口は、次のように計画されている。



資料 : アワセゴルフ場地区総合整備計画 (平成 25 年 3 月)

(3) 景観形成

調査対象地区では、平成25年3月に見直されたアワセゴルフ場地区総合整備計画において、景観形成の基本的な方向性として「緑と眺望を活かした景観の誘導」が掲げられており、本村の景観の特徴を考慮し、調査対象地区の地域特性を活かした景観形成に住民とともに取り組んでいくものとしている。

〈表 本村の景観の特徴〉

内容
<ul style="list-style-type: none">• 起伏に富んだ地形や恵まれた自然環境• 豊富な歴史的資源• 落ち着きのあるまとまった集落• 周辺市町村を結ぶ幹線道路等

※北中城村都市計画マスタープランより抜粋

〈図 景観形成イメージ〉

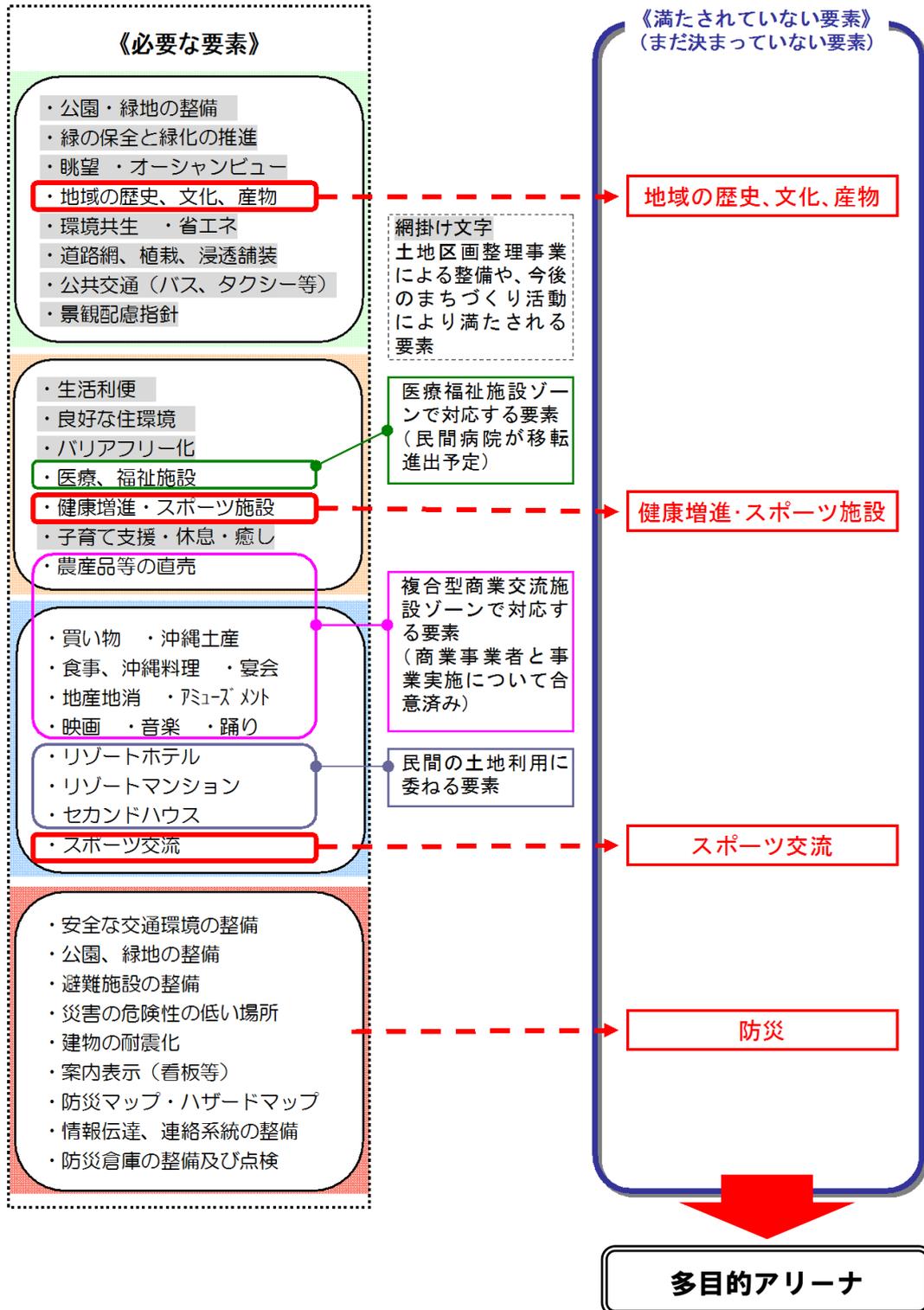


資料：アワセゴルフ場地区総合整備計画（平成25年3月）

(4) まちづくりの要素の実現性

現在、調査対象地区においては、土地区画整理事業によるまちづくりに向けた準備に合わせ、「まちづくりに必要な要素」の実現性（満たされるものと満たされないもの）も、明らかになってきている。それらを整理すると次のとおりであり、これらを満たす施設として、多目的アリーナが位置づけられた。

【アワセゴルフ場地区の「まちづくりに必要な要素」の実現性の整理】



1-2 対象地区の特性と課題

北中城村まちづくり基本構想において、調査対象地区（アワセゴルフ場地区）のまちづくりに必要な要素のうち、「満たされていない要素（①健康増進・スポーツ、②地域の歴史・文化・産物、③ スポーツ交流、④防災）」の地区特性及び解決すべき課題（多目的アリーナの必要性・妥当性）が整理されている。

（1）対象地区の特性

① 健康増進・スポーツ

○スポーツ活動が盛んな地域特性に対応した活動の場が不足している

特性	問題点	期待する点						
広域環境	<ul style="list-style-type: none"> • 村の主な運動施設である<u>村立体育館</u>がH23に閉鎖解体されたが、代替え施設が未整備である。 • 村内の小中学校の体育館が開放され一般利用が可能となっているが、学校教育に支障のない範囲に限られる。 	<ul style="list-style-type: none"> • 日常的にスポーツ活動が盛んで、<u>村立体育館の利用頻度が高かった。</u> <p>【旧村立体育館の利用実績（H21）】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体数</th> <th>利用回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>63</td> <td>903</td> </tr> </tbody> </table>		団体数	利用回数	H21	63	903
	団体数	利用回数						
H21	63	903						
地区環境	<ul style="list-style-type: none"> • 主要な施設は村の中央部に立地し、もともと人口が多く、調査対象地区の開発により<u>人口増が見込まれる北部地域に少ない</u> • 将来像実現に向けて必要な地域の健康増進・スポーツの要素を満たす施設機能が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 国道330号と沖縄環状線の交わるライカム交差点に面した<u>交通環境に優れた立地</u>にある。 • 地区内で病院の移転が計画されており、これらの施設と連携した健康増進施設としての利用が期待される。 						

② 地域の歴史・文化・産物

○バスケットボール等のスポーツが盛んな環境、村民の活躍が地域活力を生む資源として期待される。

特性	問題点	期待する点
広域環境	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産「中城城跡」を有するが、それ以外に目立った観光施設がない。  <p>【中城城跡】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日常的にスポーツ活動が盛んで、<u>村立体育館の利用頻度が高かった。</u> バスケットボールが盛んで、<u>村内の小中高は、全国大会でも活躍</u>  <p>【北中城中学校】 【2004年 全国中学校体育大会「優勝」】</p>
地区環境	<ul style="list-style-type: none"> 将来像実現に向けて必要な地域の歴史・文化・産物の要素を満たす施設機能が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 国道330号と沖縄環状線の交わるライカム交差点に面した交通環境に優れた立地にある。 調査対象地区は、<u>村の新たな顔として市街地整備が予定されている。</u>

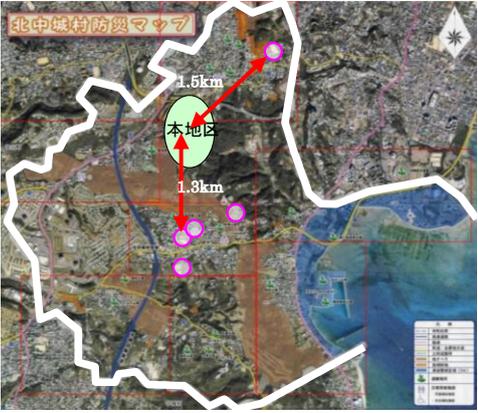
③ スポーツ交流

○バスケットボール等のスポーツが国際交流の機会となっている。

特性	問題点	期待する点
広域環境	<ul style="list-style-type: none"> • 村の主な運動施設である村立体育館が H23 に閉鎖解体されたが、代替え施設が未整備である。 	<ul style="list-style-type: none"> • バスケットボールが盛んで、村内の小中高は、全国大会でも活躍 • 村の国際交流協会を通じて、<u>スポーツ交流</u>が行われている。 • <u>琉米高校生友好親善バスケットボール大会</u>が、キャンプ瑞慶覧内の体育館で毎年行われている。  <p>【バスケットボールによる国際交流】</p>
地区環境	<ul style="list-style-type: none"> • 将来像実現に向けて必要な地域のスポーツ交流の要素を満たす施設機能が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> • 国道 330 号と沖縄環状線の交わるライカム交差点に面した交通環境に優れた立地にある。 • 調査対象地区は、<u>村の新たな顔として市街地整備</u>が予定されている。

④ 防災

○調査対象地区は村立体育館に代わる大規模避難所や村の防災拠点になりえる立地環境にある。

特性	問題点	期待する点
広域環境	<ul style="list-style-type: none"> 村の大規模避難所は、5箇所あるが、人口の約 1/3 を占める北部地区には 1 箇所と設置箇所に偏りがある。 大規模避難所の 1 つである村立体育館が H23 に閉鎖解体されたが、代替え施設が未整備である。 	<ul style="list-style-type: none"> 村地域防災計画では、<u>防災拠点機能の確保</u>を防災まちづくりの方針として掲げている。
地区環境	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象地区の開発により人口増が見込まれるが、<u>地区周辺には避難所がない</u> 将来像実現に向けて必要な地域の防災の要素を満たす施設機能が不足している。  <p>【本村の大規模避難所の位置】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <u>津波災害の直接被害を受けにくい高台</u>（標高 100m前後）に位置する。 国道 330 号と沖縄環状線の交わるライカム交差点に面した<u>交通環境に優れた立地</u>にあり、災害時の広域的な防災拠点としての活用可能性がある。 地区内で大型商業施設の出店や病院の移転が計画されており、これらの施設からの<u>物資供給や医療活動での連携が期待される</u>。

(2) 地区の課題（多目的アリーナの必要性・妥当性）

対象地区の特性の整理を踏まえ、地区の課題として、多目的アリーナの必要性及び位置の妥当性について整理する。

必要な要素	多目的アリーナの必要性	位置の妥当性
全体	○不足要素の解消による地区の将来像の実現が必要	○優れた広域交通環境 ○地域活力となる拠点機能の集積が計画
健康増進・スポーツ活動	○村民が利用しやすいスポーツ活動の場が必要 ・高い体育館利用ニーズ ・旧体育館の代替機能	○旧村立体育館に代わる室内運動施設の用地確保が可能 ○隣接する医療機関等との健康増進の連携機能への期待
地域の歴史・文化・産物	○バスケットボールを核としたスポーツ交流による活性化が必要 ・盛んなスポーツ活動 ・地元チームの活躍 ・貴重な国際交流の機会創出	○地域活力となる拠点機能の集積が計画
スポーツ交流		
防災	○旧村立体育館に代わる大規模避難所が必要 ・避難所のかたより・不足 ・大規模避難所の代替機能	○津波災害を受けにくい高台 ○避難所のかたより解消 ○隣接施設と連携した村の防災拠点機能への期待

1-3 整備の基本方針

地区の特性や整備の課題等を踏まえ、「北中城村まちづくり基本構想」では、多目的アリーナの整備に向けた基本方針を以下のように設定している。

① スポーツを通じた多様な交流拠点として位置づける

地域の分断を招いてきた調査対象地区に、多くの村民が利用できる施設として整備し、村民の新たな交流の場とすることで、村民がいきいきと暮らせる環境づくりに貢献する。

村民の利用だけでなく、国際交流や沖縄本島中部圏域の広域交流拠点としても活用する。

② 地域文化の継承・創造による活性化の活動拠点として位置づける

スポーツを含む地域文化を活かした持続的な活性化の活動拠点とする。

特に本村で盛んなバスケットボールを地域資源として捉え、村の活性化に繋げる活動の拠点とする。

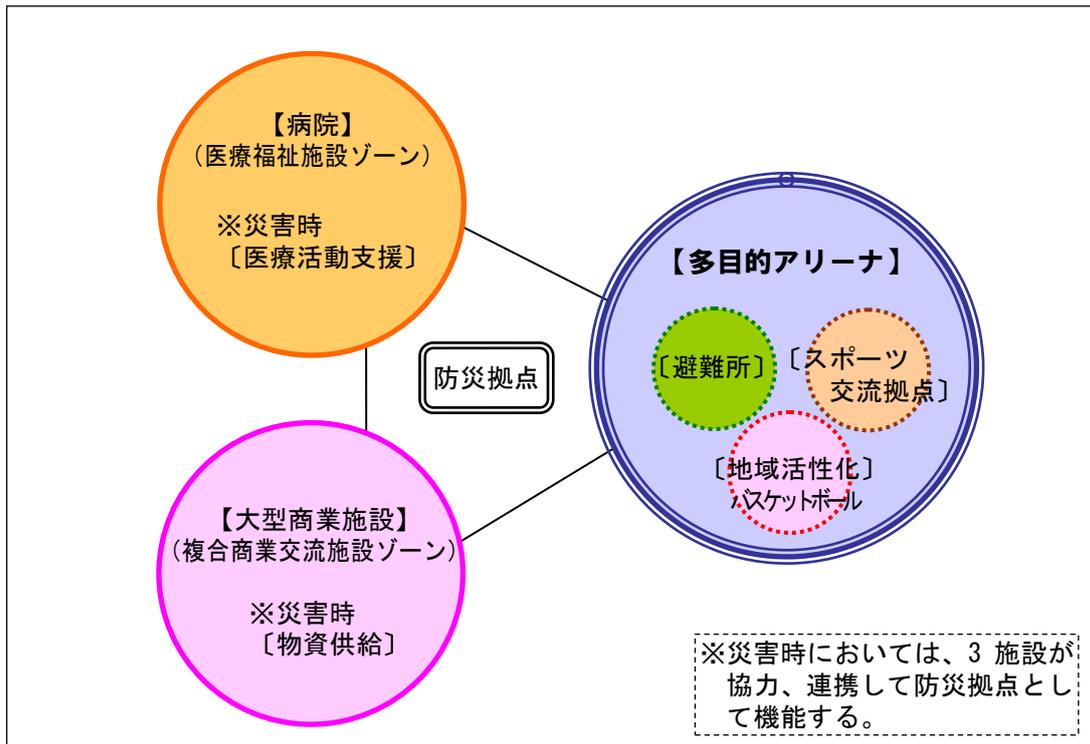
③ 災害時の防災拠点及び大規模避難所として位置づける

村の中核防災拠点及び大規模避難所として整備する。

防災拠点として機能させるため、災害時の物資供給や医療活動について、調査対象地区へ出店予定の大型商業施設や移転予定の病院と協力・連携するものとし、整備位置については、両施設とのアクセス性を考慮する。

交通環境に優れた立地特性を活かし、大規模災害時における自衛隊等の応援機関の中継基地となる広域防災拠点としても活用する。

【基本方針図】



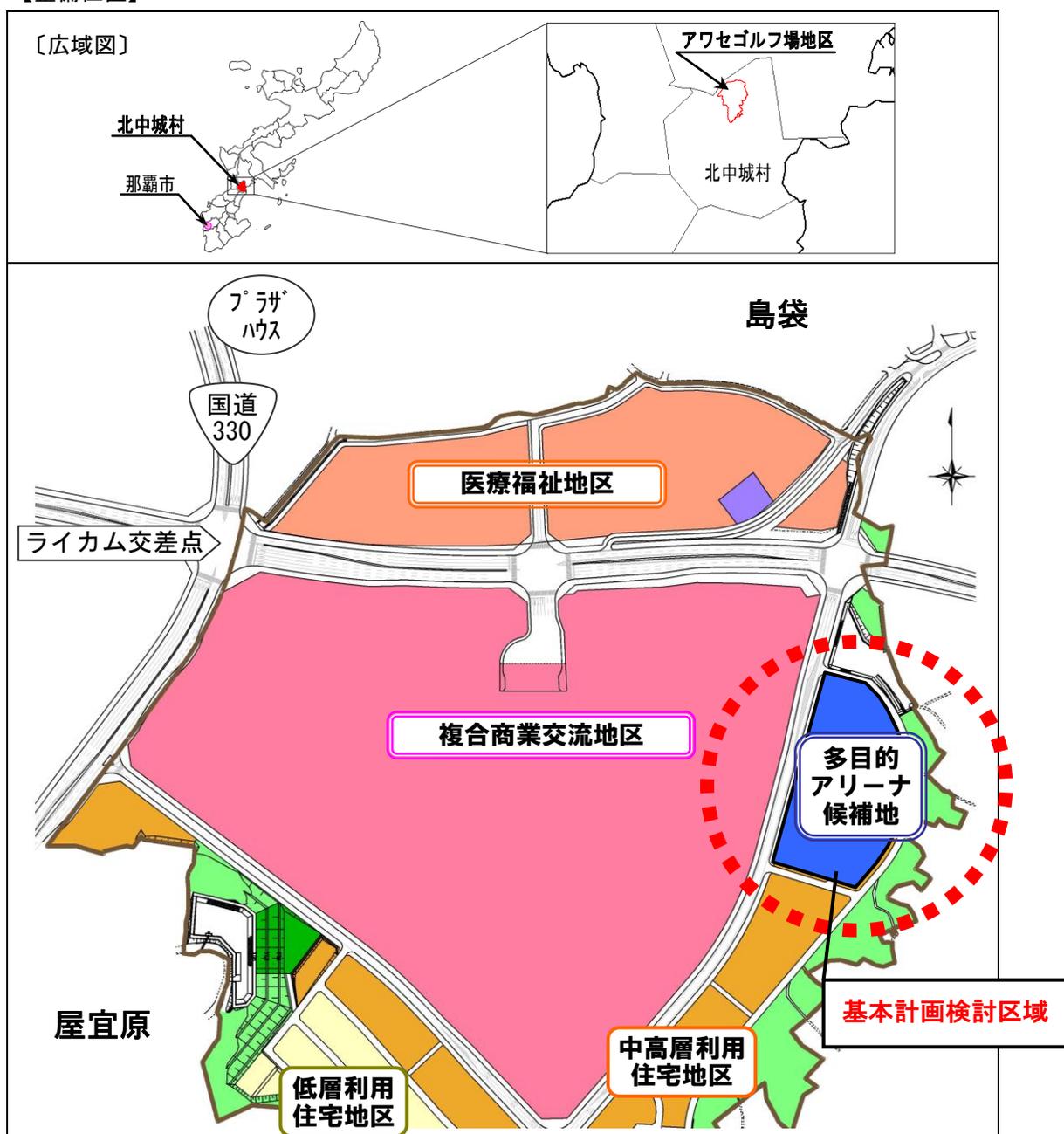
1-4 計画の対象区域

多目的アリーナの整備は、平成22年7月末日に返還され、平成25年3月29日に地権者へ引渡された駐留軍用地「アワセゴルフ場地区」内における跡地利用の一環とし、その整備位置は、「北中城村まちづくり基本構想」の中で次の3点を考慮して、下図のとおり設定している。よって、当該区域において、まちづくり基本計画を展開する。

【多目的アリーナの整備位置】

- ・多目的アリーナとして必要な広さを平面的に確保できること
- ・病院、大型商業施設との距離が近く、協力・連携が可能であること
- ・大型商業施設とアクセスしやすく利用者にとって利便性が良いこと

【整備位置】

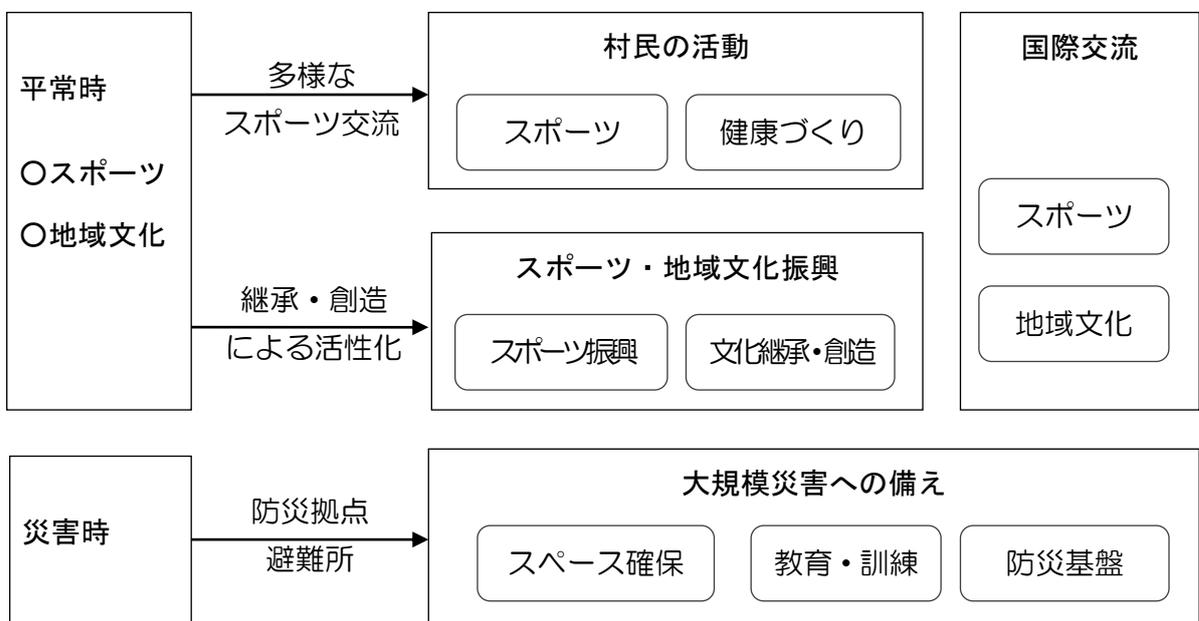


第2章 多目的アリーナの利用方針（案）

北中城村まちづくり基本構想、及び有識者との検討会議の結果（参考資料：参考-1）を踏まえ、多目的アリーナの利用方針（案）を以下のように設定する。

2-1 基本的な利用の方向

スポーツ活動等による交流促進、活性化を図るため、村民のスポーツ活動、国際交流、スポーツ・地域文化の振興に利用する。また、大規模災害に備えた避難・防災拠点空間として利用する。



2-2 多目的アリーナ利用の方針（案）

（1）村民のスポーツ活動・健康づくり

地域活動の場、健康づくりの場を提供し、村民のスポーツ活動・健康づくりを促進する。

- ・地域住民や各種団体（学生・生徒、自治会、老人クラブ、青年会、婦人会、子供会等）と連携したスポーツ・文化的活動等の推進により、地域の身近な交流機会の創出を図る。
- ・村のスポーツ交流イベント、地域の運動会の開催等の地域の身近なイベントを実施し、村民の交流促進を図る。
- ・マシンジムによる有酸素運動・筋力づくり、育児相談、各種健康イベント、スポーツ教室等の開催により、村民等の健康づくりを推進する。

（2）スポーツ・地域文化を通じた国際交流

スポーツ・地域文化のイベント等を通じた、村民と軍人・軍属等との国際交流の促進を図る。

- ・軍人・軍属等との親善バスケットボール大会、スポーツ競技大会等のイベントを通じ、国際交流事業の継続を図るとともに、村民と軍人・軍属等との身近な交流機会創出を図る。
- ・米軍との共同での音楽交流イベント、文化交流イベント、文化教室の開催等により、地域文化を通じた国際交流の推進を図る。

（3）スポーツ・地域文化の振興

バスケットボールを核とした事業展開、文化交流イベントの実施等により、スポーツ・地域文化による地域活性化を図る。

- ・プロバスケットボール、沖縄バスケットボール協会主催の試合、競技大会誘致、その他スポーツ興業の開催等により、スポーツを見る場を提供し、村民のスポーツ参加意欲向上を図る。
- ・隣接する複合型商業交流施設、医療施設等と連携して、プロ選手等の指導や交流イベントを開催するなど、施設利用促進を図るとともに、子供達のスポーツ育成にも寄与する。
- ・各種スポーツ講座、プロ選手等との交流機会等により、スポーツ指導者、ボランティアの育成、さらに子供達のスキルアップの充実を図る。
- ・大きな収容能力を活かして、村まつり、イベント、式典などの開催や文化資源の展示など、地域文化を創造する取り組みを積極的に行う。

（4）大規模災害時の防災拠点

防災拠点スペースの確保、防災訓練の実施等により、大規模災害時の防災拠点化を図る。

- ・情報収集・伝達、支援物資の受入等に対応した防災拠点スペースを確保し、施設の防災拠点化を図る。
- ・米軍や周辺の医療施設等と連携して、合同防災訓練を実施し、災害時の危機管理体制の充実を図る。

（5）大規模避難所

避難者の安全と安心の場や避難生活に必要な機能の確保等により、大規模災害等に備える。

- ・平常時の施設機能を利用して、避難者の様々なシチュエーションに対応した避難者の安全と安心の場の確保を図る。
- ・食糧、燃料等の備蓄、非常用電源の確保等の防災基盤を確保し、避難所機能の充実を図る。
- ・避難者へ温食を供給するための機能についても検討する。

第3章 施設整備計画の検討

施設利用方針（案）を踏まえ、多目的アリーナの施設整備計画を検討する。

3-1 施設整備方針（案）

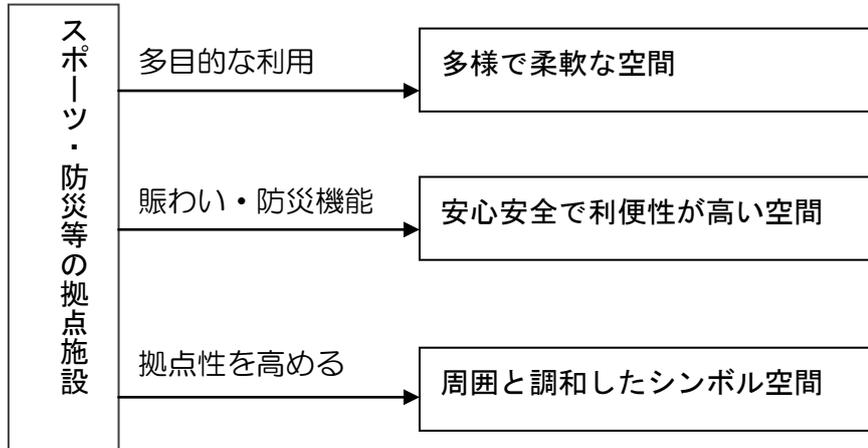
（1）基本的な考え方

医療福祉施設ゾーン及び複合型商業交流施設ゾーンに隣接する空間を公共用地として確保し、周辺施設と連携しながら、スポーツ活動・健康づくり、国際交流、スポーツ・地域文化の振興や防災活動等の拠点施設として整備を検討する。

（2）主要施設

施設	施設整備の考え方	施設
多目的利用施設	スポーツ活動・健康づくり、国際交流、スポーツ・地域文化の振興、災害時の防災拠点など、多目的な利用に対応できる施設の整備	メインアリーナ サブアリーナ トレーニングルーム 多目的室
活動支援施設	多目的利用に必要な付加的な施設の整備	会議・研修室・応接室 控室 トイレ 更衣室・シャワー室 器具庫
観覧支援施設	スポーツ・地域文化の振興等に資する観覧支援施設の整備	玄関ホール 案内所 監視室・調光及び音響室
管理サービス施設	利用者を主とした管理サービス施設の整備 災害時には避難所の管理・運営にも活用できる施設の整備	事務室 放送室 医務室 駐車場 備蓄倉庫

(3) 施設づくりの方向



(4) 施設整備方針（案）

① 多様で柔軟なスポーツ施設の整備

村民のスポーツ活動や国際交流、防災の拠点等、多目的利用に対応した多様で柔軟なスポーツ施設の整備を行う。

- 各種団体等による地域スポーツ活動、国際交流活動など、多様な競技利用や交流に配慮したメインアリーナ、サブアリーナ等を設置する。
- サブアリーナは村民利用を主として、メインアリーナの補完的役割を担う。
- 医療機関と連携した運動や体力づくり、トレーニング等が、少人数や個人でも気軽に利用できるような健康増進スペースを確保する。
- 各種スポーツ教室、子育て支援活動、国際文化交流イベント等、小規模かつ多様な利用に配慮した多目的スペースを確保する。
- 各種スポーツ・文化イベントの運営やスポーツ講座の開催、災害時の防災事務室など、フレキシブルな利用に配慮した会議スペースを確保する。

② 安心安全で利便性の高い空間・動線の整備

周辺施設と一体となって平常時の賑わい創出や災害時の防災拠点機能を発揮するため、周辺施設との連携を見据えた安全安心で利便性の高い施設づくりを行う。

- 周辺施設と一体となって、平常時の施設機能や災害時の防災機能を発揮するため、人と車の動線を分離し安全性を高めるとともに、施設間の情報提供や一体的な活動、イベント等が行いやすい施設づくりを検討する。
- 施設の機能性を高めるため、各室のゾーニング、動線等、利用者や災害活動等の動線に配慮した施設づくりを検討する。
- 平常時のスポーツ活動、健康増進活動等の利用に加え、災害時の避難所としての活用を前提に、誰もが不自由を感じることなく利用できるユニバーサルデザインによる施設づくりを検討する。
- 多目的な利用に柔軟に対応でき、運営効率が高まるメンテナンスや管理がしやすい施設として整備を検討する。

③ 周辺施設と調和したシンボリックな施設の整備

平常時、災害時の拠点的な空間として、シンボル性を高めつつ、周辺施設の眺望・景観や環境に配慮した施設整備を行う。

- 平常時、災害時に村民等が利用する拠点施設となるため、複合型商業交流施設等の周辺拠点施設や自然環境と調和したシンボリックな施設づくりを検討する。
- 複合型商業交流施設等、多くの集客がある施設からの中城湾（東海岸）への眺望を遮らないよう配慮するとともに、バスケットボール等の公式大会誘致に対応できる空間の確保を検討する。
- 地球環境に配慮し、自然エネルギーの活用や省エネに配慮した設備の導入を検討する。
- 雨水の活用又は浸透など自然環境の維持・保全にも配慮する。

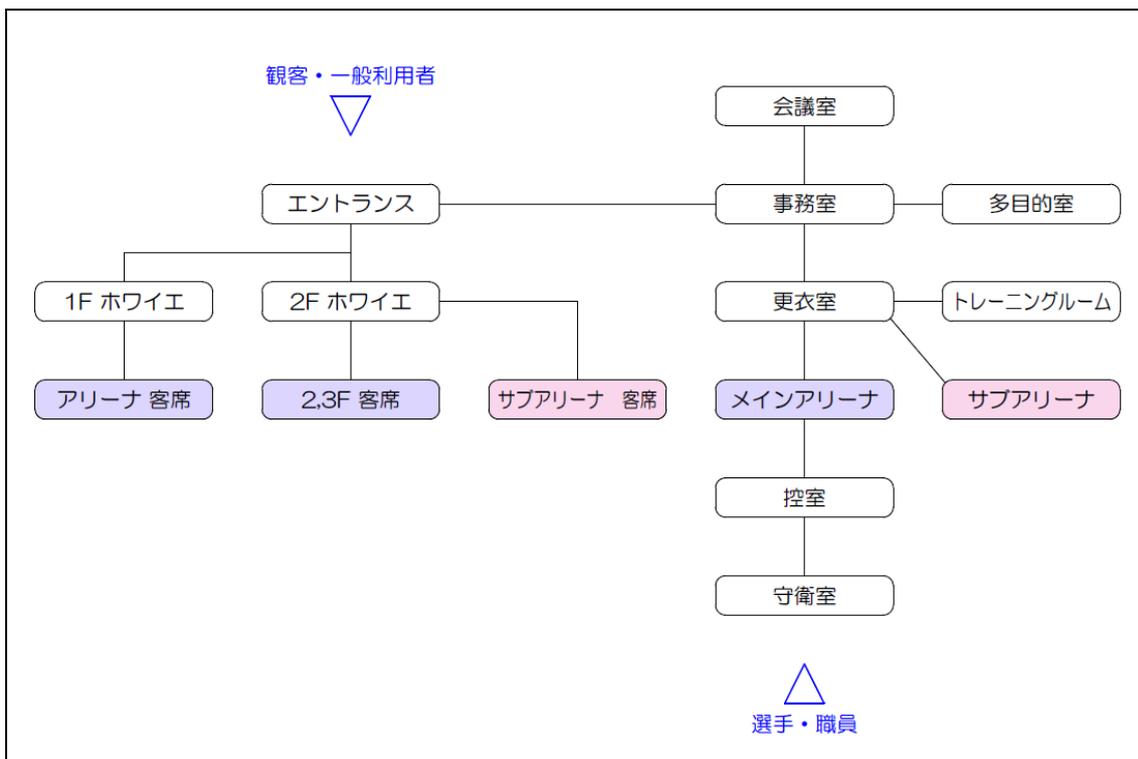
3-2 施設配置計画（案）

(1) ゾーニング

① 配置の考え方

施設		配置の考え方
多目的アリーナ	多目的利用施設	<ul style="list-style-type: none"> 多目的アリーナを中心に観客席を配置する。 隣接して使い勝手の良い位置にサブアリーナを配置する。
	活動支援施設	<ul style="list-style-type: none"> 一般開放する会議・研修室等は利用者の使いやすい位置とする。 控室等はセキュリティが確保できる位置とする。
	観覧支援施設	<ul style="list-style-type: none"> エントランスは平時の利便性を確保するとともに、イベント開催時にも支障のない位置とする。
	管理サービス施設	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者、観客ともにアクセスしやすい位置とする。
周辺施設との関係		<ul style="list-style-type: none"> 東海岸の良好な景観を見渡せる優れた眺望環境に配慮したボリューム及び配置とする。 施設駐車場と複合型商業交流施設からアクセスしやすい場所に、広場と一体になったエントランスを配置する。

② 機能配置図



(2) 施設必要規模の想定

① 多目的利用機能

施設	規模	考え方
多目的アリーナ	フロア	約 1,730 m ² ・バスケットボールの公式コート 2 面が確保できる 48m×36m程度を想定する。※
	ランニングコース	— ・ウォーミングアップや雨天時や夜間のランニングやウォーキングにも利用できる、ランニングコースを観客席後部に想定する。
	仮設ステージ	— ・文化イベント等への使用を考慮し、収納式の仮設ステージの確保を想定する。
サブアリーナ	フロア	約 1,000 m ² ・バスケットボールの公式コート 1 面が確保できる 40m×25m程度 (約 1,000 m ²) を想定する。
トレーニングルーム	200 m ²	・マシンジム等に対応し、同時に 30~40 名利用できる広さとして 200 m ² を想定する。
多目的室	300 m ²	・ダンス、体操等に対応し、同時に 60~80 名利用できる広さとして 300 m ² を想定する。

※フットサルの国際試合の開催も可能な広さ (42m×25m) が確保できる。

② 活動支援機能

施設	規模	考え方
会議・研修室・応接室	65 m ²	・イベント時の運営諸室、各種スポーツセミナーに対応し、30 人~40 人が利用できる広さの確保を想定する。
控室	5 室程度	・各チーム、審判等の控室として 5 室程度の確保を想定する。
トイレ	3~5 箇所	・利用者の動線に配慮し、男女各 3~5 箇所程度のトイレの設置を想定する。また、観客動員及び避難所収容人数に対応した必要数確保を行う。
その他	—	・更衣室・シャワー室、器具庫等の機能を確保する。

③ 観覧支援機能

施設		規模	考え方
玄関ホール		200 m ²	・収容人数に対応した必要規模の確保を想定する。
観客席	メインアリーナ	3,000 ～5,000 席	・観客席は、B Jリーグの利用を考慮し、固定式と可動式あわせて 3,000～5,000 席程度を想定する。
	サブアリーナ	適宜	・村民中心の小規模な大会等で利用するが、観客席の規模については、今後検討する。
その他		—	・案内所、監視室・調光及び音響室等の機能を確保する。

④ 管理サービス機能

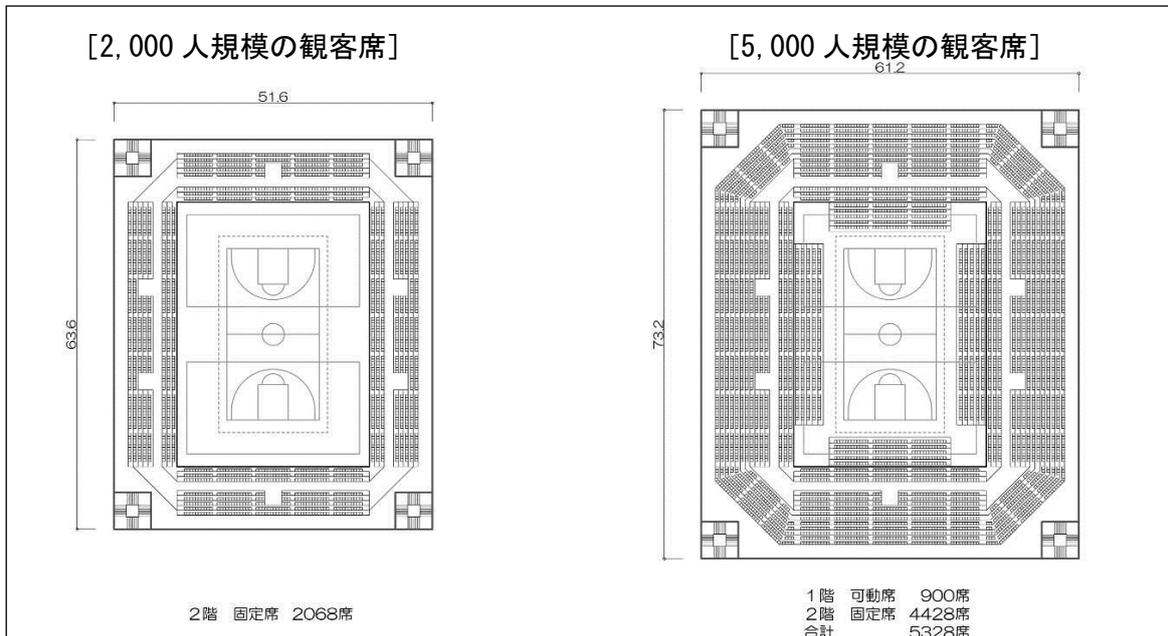
施設		規模	考え方
駐車場		3,750 m ² [125 台]	・複合型商業交流施設と連携し、施設スペース確保を優先した駐車場規模を想定する。(メイン・サブアリーナ、観客 5000 席で 3,750 m ² [125 台] が想定)
その他管理諸室		—	・放送室、事務室、医務室等の管理諸室の機能を確保する。
備蓄倉庫		—	・施設内又は外に防災備蓄倉庫の確保を想定する。

参考：観客数の想定

B Jリーグ (2011-2012 シーズン 観客数)

チーム名	ホーム試合数	平均観客数	最小観客数	最大観客数
琉球キングス	26 試合	2,962 人	2,423 人	3,384 人

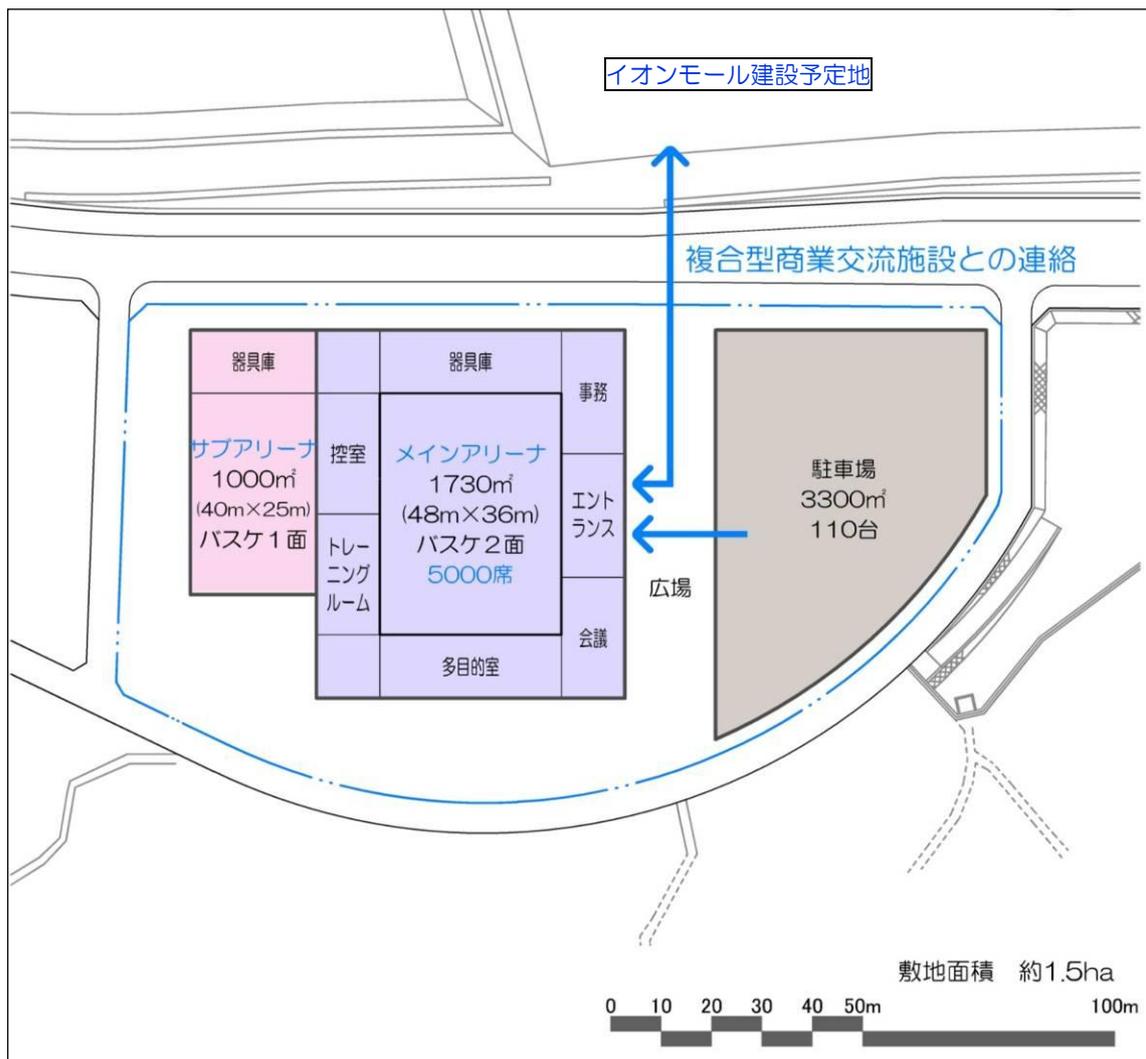
参考：観客席の想定



参考：その他施設の規模（事例）

	サブアリーナ	多目的室	トレーニング室	エントランスホール	トイレ
横浜ラポール 敷地面積：16,257㎡ 延床面積：28,817㎡	380㎡	240㎡	200㎡	300㎡ (文化ホールと兼用)	3箇所
山形市総合スポーツセンター 敷地面積：216,145㎡ 延床面積：27,217㎡	1,010㎡	—	240㎡	410㎡	5箇所
長岡市民体育館 敷地面積：18,014㎡ 延床面積：8,052㎡	—	310㎡	190㎡	140㎡	5箇所

(3) 施設配置計画図（案）

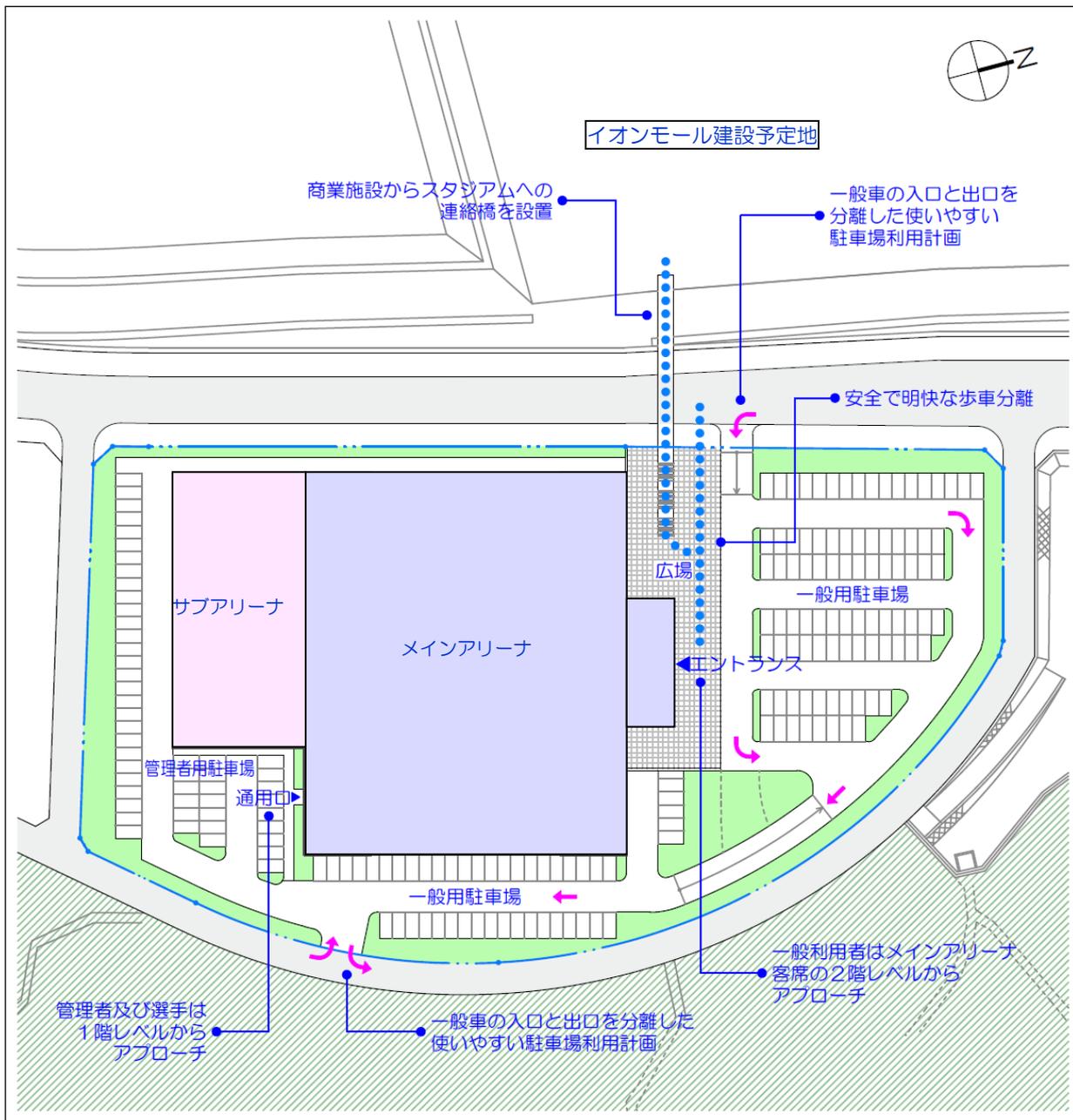


3-3 動線計画（案）

（1）基本的な考え方

項目	動線の考え方
車動線	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路レベルに合わせて、最小限の車両進入口を設ける。 ・駐車場の入口と出口を分離し、安全でスムーズな交通計画を行う。 ・敷地の高低差を利用し、駐車場と観客席を同レベルで接続する。 ・サービス動線を分離し、セキュリティを確保する。 ・屋根付きの車寄せを検討し、雨天時などの利便性に配慮する。 ・村道（区画道路）の右折レーンについても必要に応じて検討する。 ・自転車、オートバイ利用者に屋根付きの駐車スペースを確保する。 ・車で来場する身障者への動線にも配慮する。
歩行者動線	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の安全確保のため、歩車分離を行う。 ・開演までの客溜りとしての広場を設ける。（可能であれば屋根付き） ・屋外イベント等にも配慮する。 ・施設内外ともにバリアフリーに配慮する。 ・施設内は収容人員に応じたE V台数、通路の検討を行う。 ・眺望の良い2階レベルにラウンジ等を設ける。 ・セキュリティラインを設定する。

(2) 動線計画図(案)

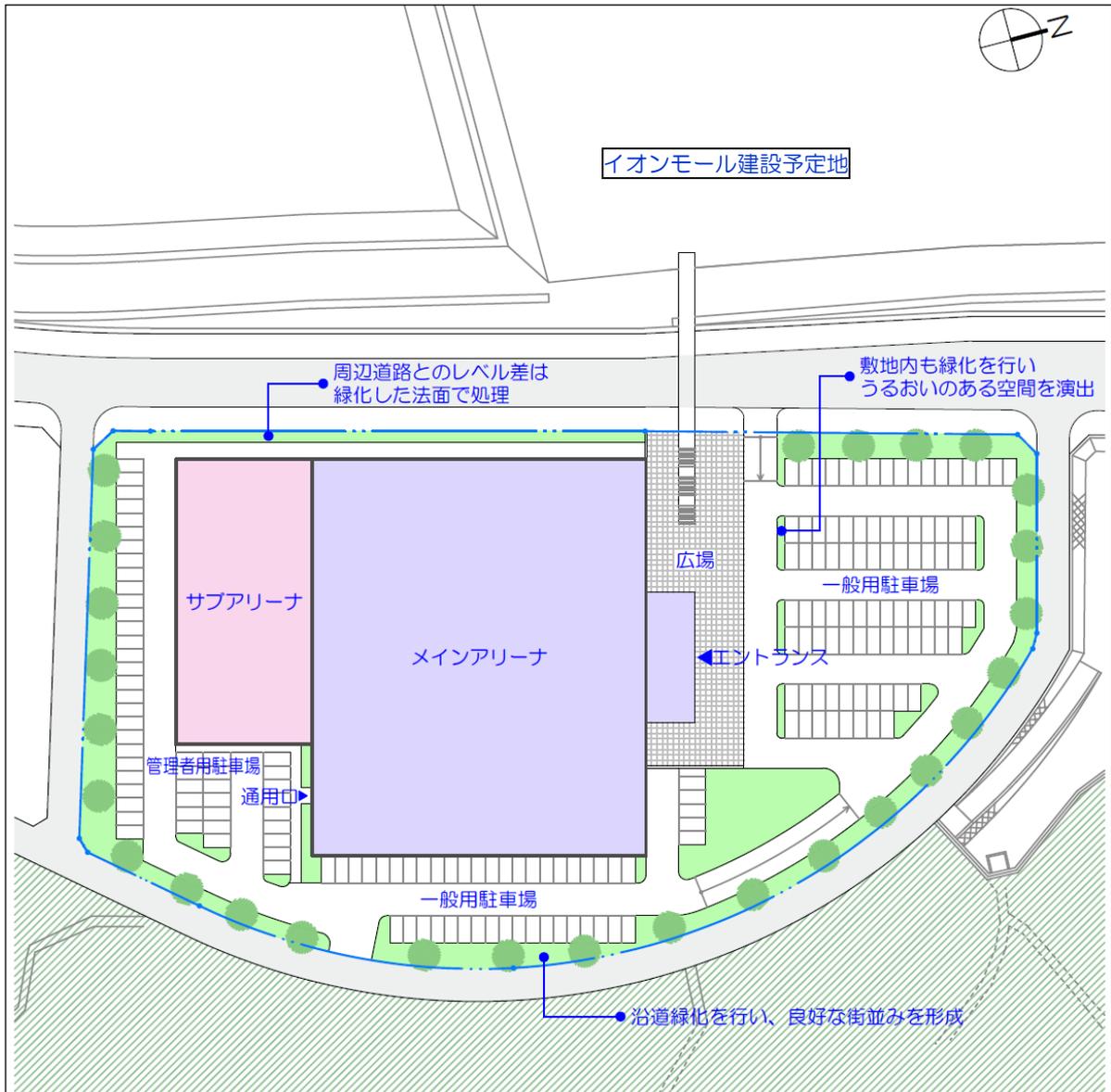


3-4 植栽環境計画（案）

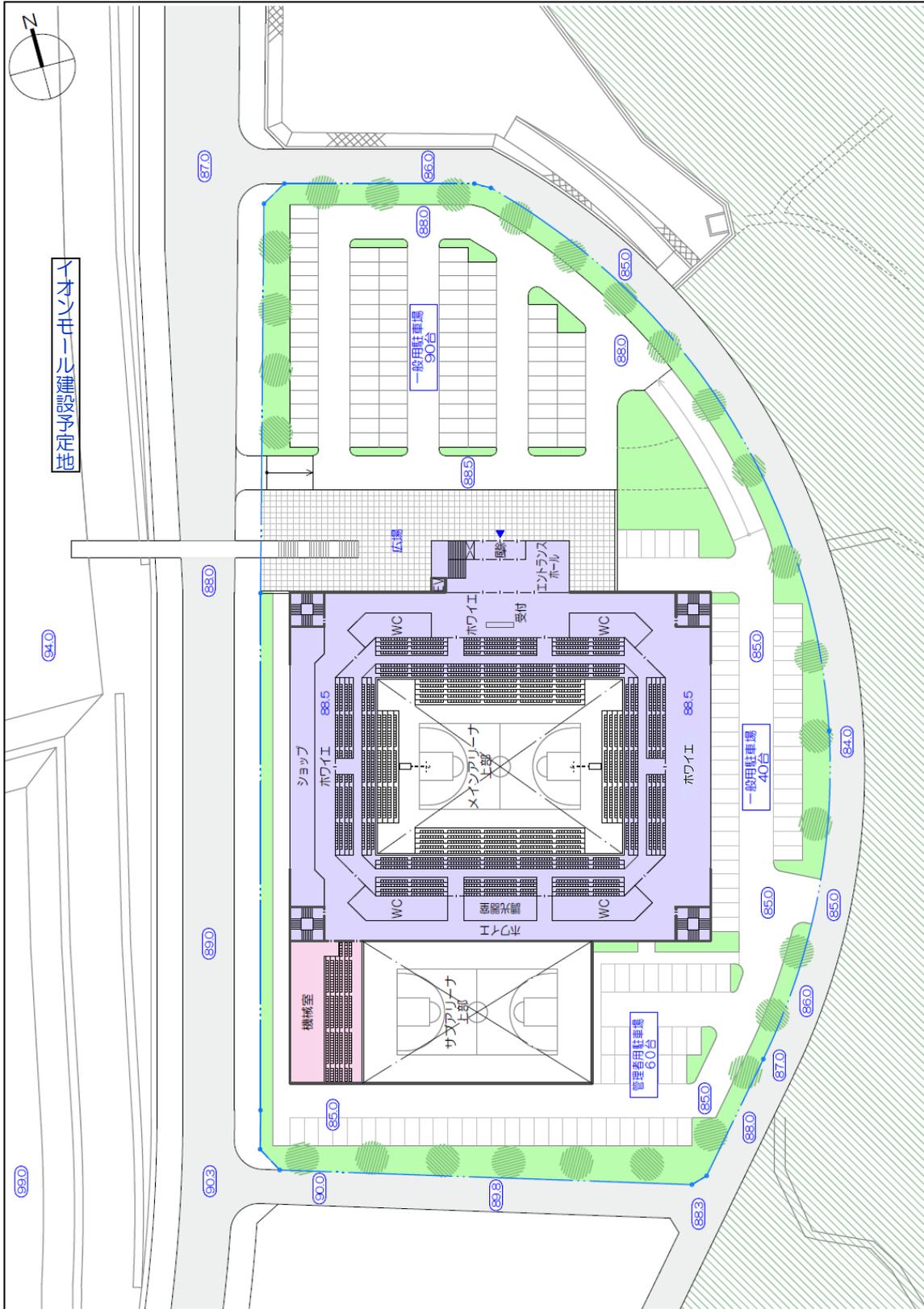
（1）基本的な考え方

項目	計画の考え方
植栽計画	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道緑化を行い、良好な街並み形成を図る。 ・敷地内を緑化し、うるおいを演出する。 ・周辺道路と敷地のレベルを緑化した法面にて処理する。
環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・建物のボリュームが大きいいため、周辺高さより低い位置に計画を行い、圧迫感を軽減する。 ・雨水の利用や地下浸透についても検討する。

（2）植栽環境計画図（案）



(2) 2階平面図



3-6 概算事業費

(1) 事業概要

項目	施設概要
構造	鉄筋コンクリート造+鉄骨造
階数	地上2階
敷地面積	14,900 m ²
建築面積	6,000 m ²
延床面積	11,000 m ²

(2) 事業収支

種別		事業費 [千円]	備考	
支出	建築工事費 (設備工事費含む)	2,200,000	コスト情報 2012 4月号(春) 参考に算出	
	外構工事費	擁壁	10,000	擁壁長さ×20万円/m として算出
		造成、舗装、 植栽、排水等	90,000	外構敷地面積×1万円/m ² として算出
	その他工事	250,000	類似施設を参考に算出 (観覧席、可動式バスケット装置、スポーツロッカー、シャワーユニット等)	
	業務委託料 (設計等)	100,000	国土交通省告示第15号を参考に算出	
	用地費	900,000	敷地面積×60,000円/m ² として算出	
	計	3,550,000		
収入	国庫補助金	2,662,500	総事業費の75%	
	村負担金	887,500	総事業費の25%	
	計	3,550,000		

第4章 管理運営計画の検討

4-1 管理運営方式の検討

(1) 管理運営方式の比較

現状の施設の管理運営方式は、①村の直営、②施設の業務委託、③指定管理者制度の3つに大別される。

これらを比較すると、施設利用、管理運営の両面から、『③指定管理者方式』が優位と考えられる。ただし、災害時の指揮系統は、行政が主体となるため、災害時の運営管理の取り扱い等について、事前の取り決めが必要と考えられる。

		①直営	②業務委託	③指定管理者
概要	方式	村が施設管理運営業務を直接運営	村が施設の維持・保存、保育業務等を委託し運営	村が施設管理運営業務を指定管理者に委任し運営
	管理者	村	民間企業 公益法人 等	民間企業 公益法人 特定非営利法人 等
施設利用	施設サービス	△公平性を重視した施設利用が期待 △民間の柔軟な発想やノウハウを活用しにくい	△仕様書に基づく効率性を重視した施設利用が期待 △業務が契約仕様の範囲に限定されるため、サービスに創意工夫が生まれにくい	○選定基準によって、重視する点をコントロールが可能 ○民間ノウハウを活用した自主事業等のサービス向上が期待
	防災拠点	○施設管理者が村職員として配置されるため、防災面での連携が図りやすい	△村職員対応が基本となるため、災害時の対応について事前の取り決めが必要	△村職員対応が基本となるため、災害時の対応について事前の取り決めが必要
管理運営	コスト	△施設運営の専門的なノウハウが不足するため、他方式より経費縮減が図りづらい	○専門性を持った業者による効率的な施設管理により経費縮減が可能	○指定管理者の運営ノウハウを活用した効率的な施設管理により経費縮減が可能
	継続性	○村の職員雇用・配置等により、安定的なサービス、運営が可能	△契約を毎年更新するため、業者交代やサービス体制等によりレベルにばらつきが発生	○複数年にわたり、管理権限を委任するため、一定の管理の継続性の担保が可能
村事例		中央公民館	水道施設検針	あやかりの杜

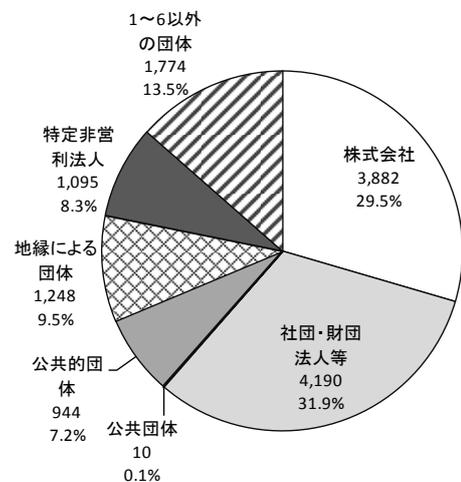
(2) 指定管理者の団体別特徴

指定管理者制度の導入（平成15年9月改正地方自治法施行）により、議会の議決を経て指定された民間事業者を含む幅広い団体（指定管理者）に当該施設の管理を委ねることができることとなった。このような背景の下、『公の施設』の管理運営に、民間のノウハウを活用したサービス向上や経費節減を図る観点から、株式会社、NPO 団体等の民間組織がするケースが多くみられるようになった。

管理運営団体の選定にあたっては、利用者のサービス向上や経費節減を図るため、各団体の特徴を踏まえ、多目的アリーナの利用主旨にあった団体選定の必要がある。

団体区分	管理団体の特徴
民間企業	<ul style="list-style-type: none"> 市場にも類似業務がある業種や利用者や業務が増えることで利益が上がる集客型施設を中心に参入 民間企業であるため、利益増加がサービス向上につながりやすい 大手企業等は、多種多様なスポーツ教室等の提供が可能 沖縄振興開発金融公庫の支援が可能
公益法人 公共的団体	<ul style="list-style-type: none"> 管理委託制度により管理していた団体が引き続き管理するケースが確認される 職員が熟練し、効率的な管理運営が期待できる
公共団体	<ul style="list-style-type: none"> 件数は少ないが、自治体が指定管理者になるケースもある 村民にニーズに即し、村民の評価の向上が期待できる。
地縁団体	<ul style="list-style-type: none"> 町内会、自治会等の組織が指定管理者になるケースもある 地域住民のニーズに即した管理運営が期待できる
特定非営利 法人	<ul style="list-style-type: none"> 地域に精通した小規模な組織が多く、小規模な施設を中心に参入 地域密着のサービスで、高い評価を受ける事例がある

参考：レクリエーション・スポーツ施設の指定管理者状況（市町村）



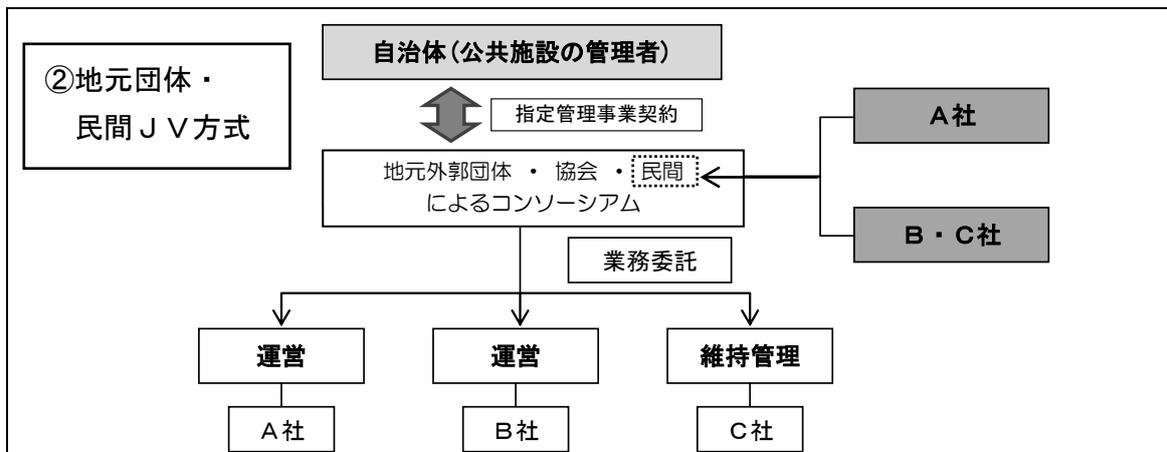
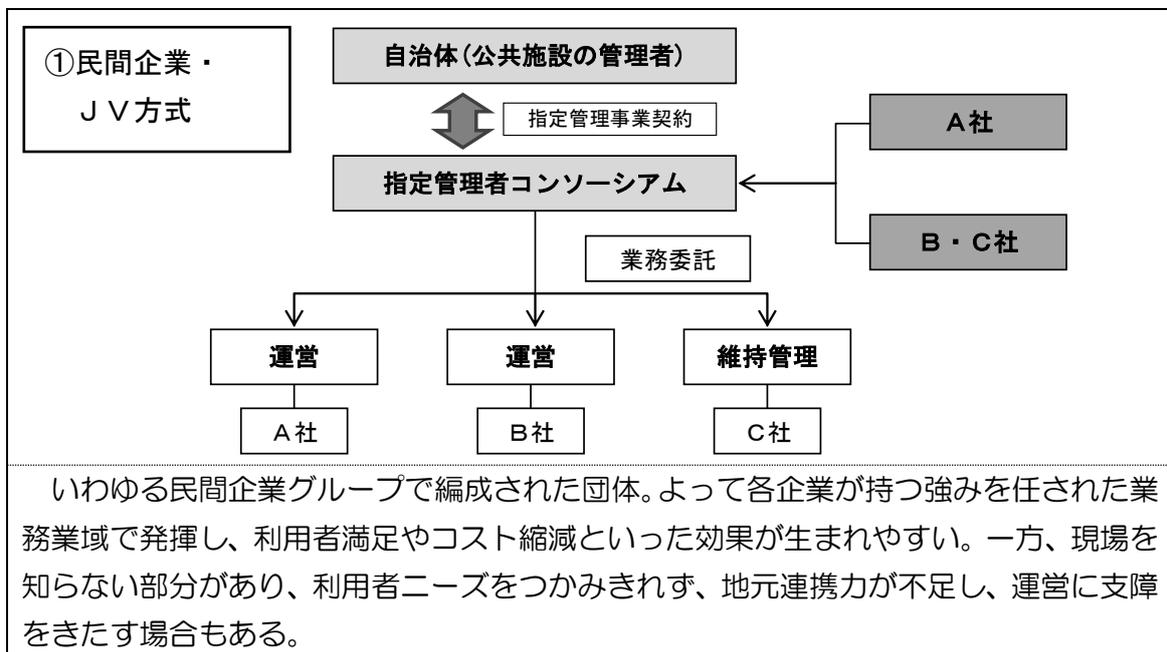
資料：公の施設の指定管理者制度の導入状況等に関する調査結果（総務省 H24.11）

(3) 管理運営のスキームの検討

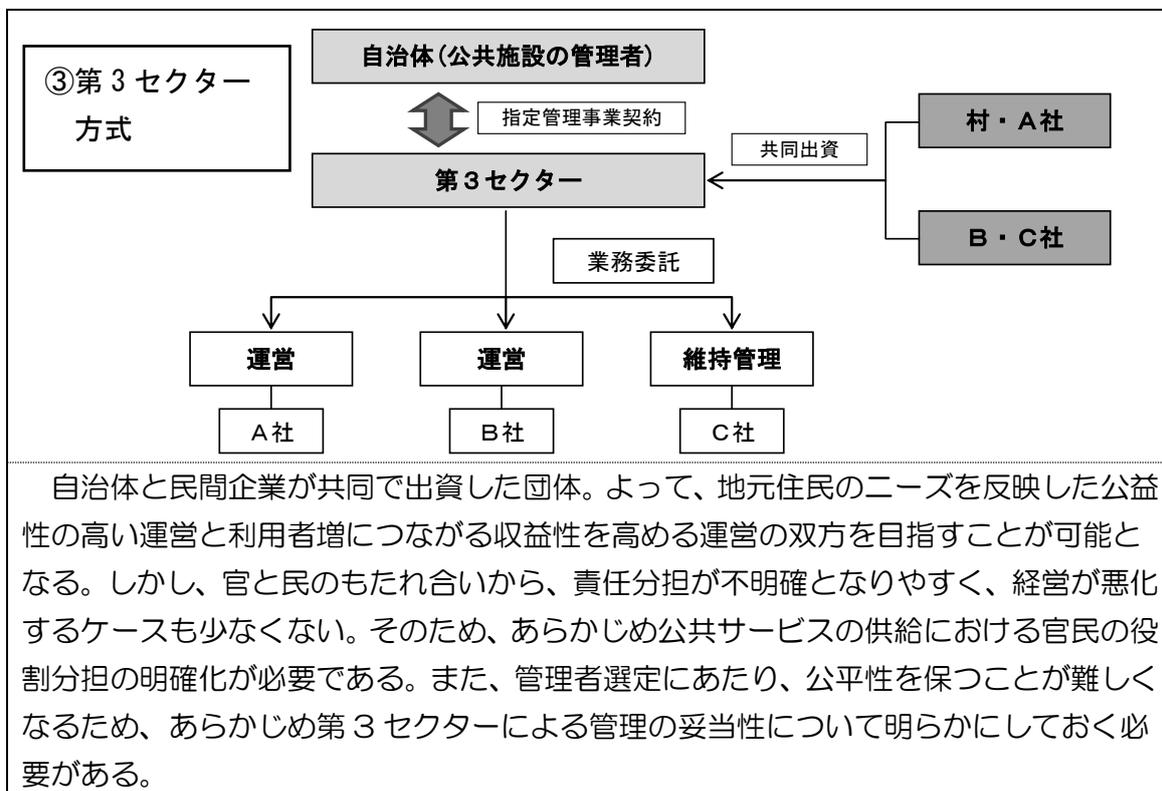
施設管理運営は、施設管理運営の専門ノウハウを必要とするため、共同企業体（JV）方式等での共同の組織形態が望まれる。以下に、管理運営の専門家の意見を踏まえ、指定管理者制度を利用した管理運営スキームを例示する。

多目的アリーナの利用目的から、村民利用と集客利用を両立する①～③のパターンが想定される。ただし、いずれのパターンにおいても、利用者満足を得ながら継続利用を促すとともに、利用料や参加料等の売上を増やすことで施設の維持管理を賄うことができる事業者を指定管理者に選定することが望ましいと考えられる。

以下に管理運営①～③のパターンについて例示する。



地元財団や体育協会と言った行政に関係する団体。よって地元住民のニーズや利用者増につながる方策を知っており、特に競技大会の開催などに力を発揮する。しかし、団体の経営に対する信用力は低く資金繰りに問題あることも少なくない。実績と信用という意味で選定しづらい時がある。



資料: ミズノ(株)スポーツ施設サービス部提案の資料及びヒアリング結果を基に作成

4-2 村負担軽減のスキーム検討

(1) 指定管理者制度導入効果についての事例考察

① 利用料金制の採用

高槻市立番田熱利用センターでは、指定管理者の公募にあたり、利用料金制を採用し、指定管理者のジョイントによる効率的な運営を行うことで、管理費用を二千万円程度削減することに成功している。

また、山梨県立フラワーセンターでは、利用料金制度を導入してインセンティブを与え、指定管理料を0円として公募。指定管理者による施設リニューアルや営業時間の延長等の取り組みにより、独立採算による運営に成功している。

[利用料金制の採用事例]

施設名称 (自治体名)	指定 管理者	制度導入効果 の内容	効果に関連する 自治体側の工夫	効果に関連する 指定管理者側の工夫
スポーツ・レクリエーション施設／共同事業体／利用料金制有／公募				
高槻市立番田熱利用センター（大阪府高槻市）	MTIバンプ会（共同事業体）	・管理費用は制度導入前より2千万円程度削減できた。	・指定管理者の公募にあたり <u>利用料金制を採用</u> した。	・3事業者の <u>ジョイント</u> により効率的な運営を行っている。
文教施設／株式会社／利用料金制有／公募				
山梨県立フラワーセンター（山梨県）	株式会社ハイジの村	・指定管理者制度導入前には管理委託料が150万円程度かかっていたが、導入後は指定管理料が0円となり、財政負担が大幅に軽減された。	・指定管理料0円として公募した。 ・指定管理者制度移行時に <u>利用料金制度を導入</u> した。 ・施設内のレストラン・売店の管理運営も一括して募集を行った。	・花き振興施設であることを踏まえ、「アルプスの少女・ハイジ」の <u>テーマパークとしてリニューアル</u> を行った。 ・4月から12月までは無休とするとともに、夏期、クリスマス期間は営業時間を21:30に延長した。

資料：平成22年度指定管理者実務研究会報告書

② 利用者ニーズに応える工夫

横浜市本牧海づくり施設では、回数券の発行や積極的な集客イベントにより、利用者の利便性や満足度を向上させながら、収益向上につなげている。

また、松本市のアルプス公園では、利用料金制度の導入と合わせ、営業時間の工夫により、利用者増加につなげている。

[利用者の拡大の工夫事例]

施設名称 (自治体名)	指定 管理者	制度導入効果 の内容	効果に関連する 自治体側の工夫	効果に関連する 指定管理者側の工夫
スポーツ・レクリエーション施設／株式会社／利用料金制有／公募				
横浜市本牧海づくり施設 (神奈川県横浜市)	イオンデ ィライト 株式会社	・H18年度の制度導入当初の「つり」入場者数は約 111,500人であったが、その後着実に利用客数を伸ばし、20年度に135,656人、21年度は138,952人と増加を続けている。	—	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>回数券の発行</u>により、複数回入場を希望する利用者に対する利便性を向上させている。 ・<u>積極的な集客イベントを実施</u>しており、利用者満足向上の取組を推進している。(魚のさばき方教室や親子釣り教室、小中学生を対象とした無料釣りデーなど)。
アルプス公園(基盤施設)・アルプスドリームコースター(レクリエーション施設)一体管理(長野県松本市)	TOYB OX	・指定管理により先行してアルプスドリームコースター(有料遊具)の管理運営がされていたが、利用者の低迷が問題となっており、公募により選定された現指定管理者の施設PRや一体管理となったアルプス公園の整然とした管理状況から利用者数が増加した。	・指定管理者にインセンティブを与えるため、アルプスドリームコースターの利用料金を指定管理者の収入とする、 <u>利用料金制委託料併用方式に変更</u> した。	・アルプスドリームコースターの営業期間中の昼の休憩時間を工夫することでなくし、 <u>利用時間の延長</u> によって利用者の増加を図った。

③ 広告料収入の工夫

茨城県立サッカースタジアムでは、ゲート広告やLEDリボンの導入等の新しい広告スペースの開発により、利用料収入が増加し、結果として指定管理料が約88百万円から約66百万円への縮減に成功している。

また、BJリーグの使用がある京都、大分の体育館では、それぞれ2,500万/年、600万円/年、県内のセルラースタジアム那覇は、1,200万円/年の命名権契約をおこない、収益確保を行っている。

[広告料収入の工夫事例]

施設名称 (自治体名)	指定 管理者	制度導入効果 の内容	効果に関連する 自治体側の工夫	効果に関連する 指定管理者側の工夫
スポーツ・レクリエーション施設／株式会社／利用料金制有／公募				
茨城県立カシマサッカースタジアム(茨城県)	株式会社鹿島アントラーズ・エフ・シー	・本施設の使用料収入が、指定管理者の工夫により広告料収入が増加したことなどにより、指定管理料(委託料)が、従前の約88百万円(H17実績)から約66百万円(H21実績)へと大きく縮減し、財政負担の軽減がなされた。	・H17指定管理者制度導入の条例改正の際に、合わせて <u>広告の利用料収入の増加</u> が図れるよう、広告掲載可能な箇所を増加させることも盛り込んだ。	・ゲート広告やLEDリボンの導入等の <u>新しい広告スペースの開発により、利用料収入の増加</u> を図った。

資料：平成22年度指定管理者実務研究会報告書

[命名権契約による収益確保の事例]

命名権による 愛称・呼称	正式名称	命名権 取得企業	期間	主な使用団体	年間契約 金額 (万円)
ハンナリーズアリーナ	京都市体育館	スポーツコミュニケーション株式会社 KYOTO	2011年4月 - (10年間)	京都ハンナリーズ(BJリーグ)	2,500
ダイハツ九州アリーナ	中津市総合体育館	ダイハツ九州	2008年4月 - (6年間)	大分ヒートデビルズ(BJリーグ)	600
セルラースタジアム那覇	那覇市営奥武山野球場	沖縄セルラー電話	2010年4月 - (3年間)		1,200

④ 一元管理

北海道留萌市では、文教施設とスポーツレクリエーション施設の一元管理を行うことにより、行政経費の軽減を図っている。指定管理者は、両施設の管理を行っている特徴を活かし、文武両道を目指した子ども向けメニューも展開している。

また、愛媛県では、関係施設で重なる業務（総務・人事等）をまとめ、運営体制の効率化を図るとともに、維持管理業務等は、関連施設でまとめて発注し、経費節減を図っている。

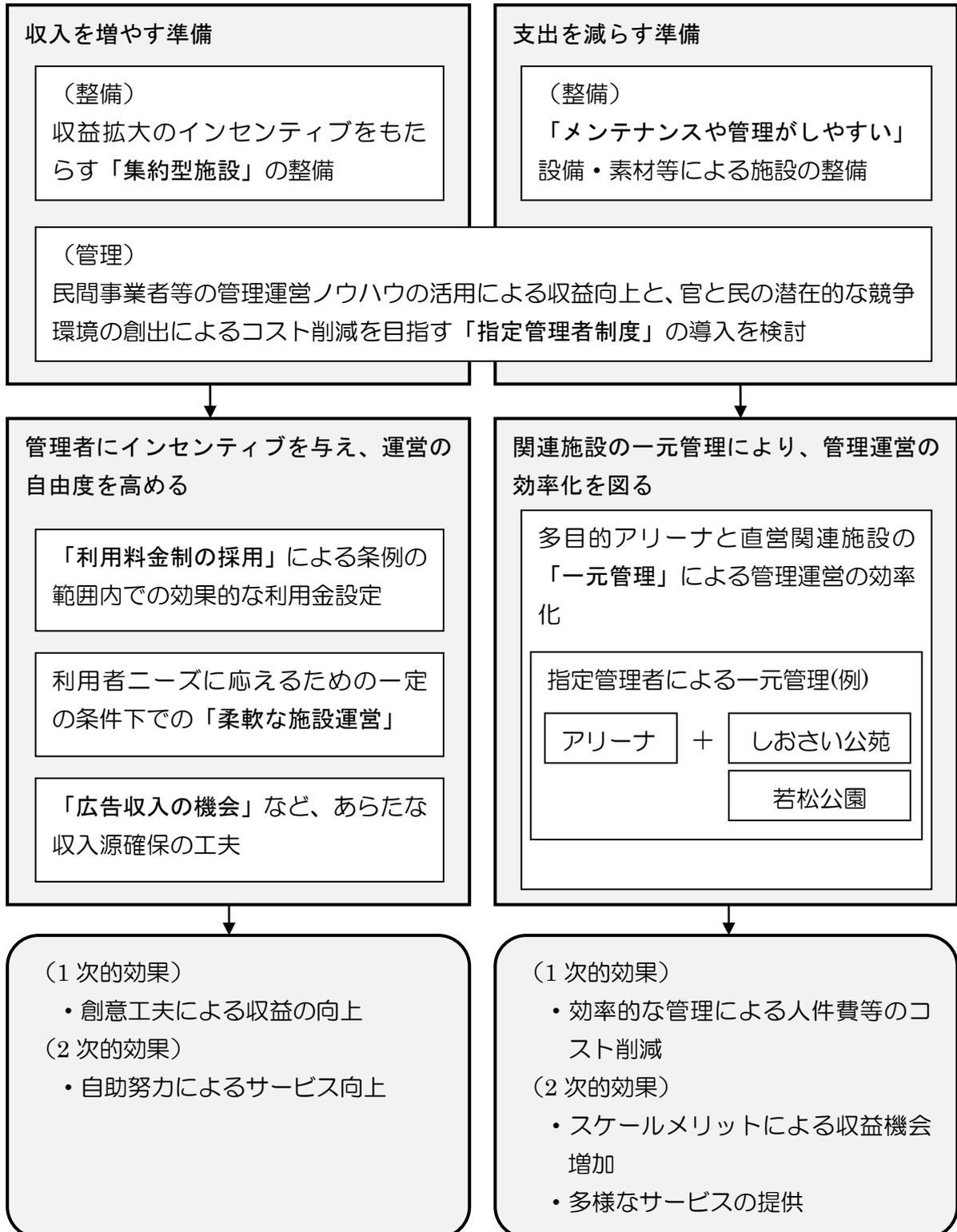
〔複数施設の一元管理事例〕

施設名称 (自治体名)	指定 管理者	制度導入効果 の内容	効果に関連する 自治体側の工夫	効果に関連する 指定管理者側の工夫
スポーツレクリエーション施設・文教施設／特定非営利活動法人（NPO 法人）／利用料金制有／公募				
○市立留萌 図書館 ○スポーツ センター・公民 館・文化 センター (北海道 留萌市)	NPO 法 人留萌体 育協会	【市立留萌図書館】 ・閉館時間延長サービス。 ・祝日開館。 ・映画会が恒常的。 【スポーツセンター・公民館・文化センター】 ・NPO 法人を中心とした総合型地域スポーツクラブを設立し、各年齢層に応じた事業メニューを大幅に増やした。	・文教施設とスポーツ・レクリエーション施設の <u>一元管理を実施</u> したことにより行政経費の削減を図った。	・両施設ともに同様の指定管理者となっていることから、子どもを対象として「文武両道」を目指したメニュー。 ・学校図書館ボランティア、市立病院ボランティア、図書館ボランティアなどとの連携を図って新たな「読み聞かせ」の事業を展開。
文教施設／株式会社／利用料金制有／公募				
○愛媛県歴史文化博物館 ○愛媛県総合化学博物館（愛媛県）	イヨテツケーターサービス株式会社	・施設の管理運営業務を見直して効率化を図り、これら経費を削減し、その分、事業費等を増加した。	・博物館活動の水準維持を図るため、学芸業務は引き続き県が行い、その他は指定管理者が行う。	・関係施設で重なる業務（総務・人事等）をまとめ運営体制の効率化を図り、また、維持管理業務等は <u>関連施設で纏めて発注</u> し、経費の節減を図った。 ・博物館業務の補助として <u>学芸員有資格者を配置</u> し、博物館事業の効果的な実施を図っている。

資料：平成 22 年度指定管理者実務研究会報告書

(2) 管理運営事例を踏まえた村負担軽減のスキームの例示

管理運営事例を踏まえ、施設管理の村負担軽減のスキームを以下に例示する。



4-3 管理運営費の試算

(1) 管理運営費の試算

体育施設の管理運営事例等を基に、本アリーナの管理運営費について試算を行う。

種別		年間事業費 [千円/年]	備考
収入	指定管理料	58,600	4-3 (2) 参考事例①より、平均値（収入割合から計算）を算出
	使用料収入	28,900	
	自主事業等	5,600	※使用料収入のうち、BJリーグ6試合開催を想定すると、使用料収入の約15%にあたる4,200千円/年の収入が推計される
	計	93,100	
支出	人件費	25,800	4-3 (2) 参考事例②より、平均値を算出
	電気	9,000	
	水道	1,600	
	ガス（燃料）	1,700	
	維持管理費	30,000	
	その他諸費	25,000	
	計	93,100	

(2) 参考事例

① 体育施設の管理運営収入事例

管理運営収入の参考として、全国のBJリーグのチームがホームアリーナ（各チームの最も多く試合が開催される会場）や近年の国体の会場として利用している体育施設のうち、施設規模が類似する3施設の平成23年度の収入事例について整理する。

施設により、施設管理料と使用料収入にばらつきがあるが、3施設を平均すると全体収入の約2/3が指定管理料、約1/3が使用料収入等となっている。

千円

施設名	敷地面積	指定管理料	使用料収入	その他 自主事業等	収入計
宮崎県体育館	15,975 m ²	30,087 76%	8,401 21%	1,149 3%	39,637
松江市総合体育館 (松江市北公園体育施設)	17,242 m ²	44,872 47%	36,512 38%	14,387 15%	95,771
飛騨高山 ビックアリーナ	30,106 m ²	37,230 66%	19,493 34%	81 0%	56,804
平均（収入割合）		63%	31%	6%	

資料：宮崎県、松江市、高山市のHP公表資料を基に作成
※施設概要は、参考-3（2）視察候補地参照

② 体育施設の管理運営費の事例

管理運営費の参考として、民間指定管理者による体育施設の管理運営費について3施設の事例を整理する。

施設により管理運営費にばらつきがあるが、運営人数10名程度を想定すると、3施設の平均で年間9千万円程度の管理運営費が発生している。

万円/年間

施設名	概要	延床面積	運営人数	人件費	電気	水道	ガス(燃料)	維持管理費	その他経費	経費合計
A 体育館	大体育館(33×35)ジム、小体育館、弓道場、武道場	4,516 m ²	10名	2,665	550	120	90	2,300	1,255	6,980
B 体育館	大体育館(33×35)ジム、小体育館、弓道場、武道場	4,532 m ²	10名	2,660	660	215	95	2,000	2,975	8,605
C 体育館	大アリーナ、中アリーナ、小アリーナ、ジム	3,930 m ²	10名	2,415	1,500	155	320	4,625	3,370	12,385
	平均	4,326 m ²	10名	2,580	903	163	168	2,975	2,533	9,323

資料: ミズノ(株)スポーツ施設サービス部提案の資料

③ 利用収入の事例

県内の沖縄本島で実施するBJリーグの琉球キングスのホームゲーム会場は、那覇市体育館、宜野湾市体育館、沖縄市体育館の3箇所である。

このうち、沖縄市体育館では、BJリーグ開催時のメインアリーナ 1日当りの使用料が525,000円（最高入場料4,500円想定）と最も高くなる。

沖縄市体育館では、使用料を最高入場料と連動させる仕組みを採用しており、施設の魅力を高め、高収益の試合・イベント誘致による収益向上が可能な仕組みとしている。

利用区分			那覇市 体育館	宜野湾市 体育館	沖縄市 体育館	
メイン	アマチュア・レクリエーション等	入場料なし	33,084	36,000	22,350	
		入場料あり	49,788	60,000	75,000円 + 最高入場料50人分	
	催事等	入場料なし	非営利	49,788	72,000	75,000
			営利	180,228	120,000	75,000
		入場料あり	非営利	180,228	240,000	75,000円 + 最高入場料100人分 525,000
			営利	359,244	360,000	
サブ	アマチュア・レクリエーション等	入場料なし	12,516			
		入場料あり	18,864			
	催事等	入場料なし	非営利	18,864		
			営利	66,828		
		入場料あり	非営利	66,828		
			営利	133,656		

資料: NPO法人那覇市体育協会、宜野湾市、沖縄市体育協会の各HPを基に作成

④ 沖縄市体育館をモデルとしたBJリーグ使用料の想定

使用料を最高入場料と連動させる仕組みを採用する沖縄市体育館でのBJリーグ琉球キングスホームゲーム2試合あたりの利用料の想定し、BJリーグ開催による利用料収入を試算した。

BJリーグ開催により、2試合あたり140万円程度の収入が想定される。

単位：円

主な施設	利用用途	単位	数量	単価	金額	備考
アリーナ	使用料	日	2	525,000	1,050,000	プロ試合使用・営利(2日を想定)
		日	1	75,000	75,000	試合準備使用・営利(1日を想定)
	照明(全点灯)	時間	22	3,420	75,240	(8時間×2日+6時間を想定)
	冷房(アリーナ)	時間	22	4,500	99,000	(8時間×2日+6時間を想定)
	冷房(固定席)	時間	16	5,500	88,000	(8時間×2日を想定)
	計					1,387,000
会議室等	会議室	時間	30	320	9,600	運営諸室を想定(冷房あり・2.5日想定)
	控室(3室)	時間	24	320	7,680	選手・審判の控室(冷房あり・2日想定)
	計					17,000
合計					1,400,000	全てのホーム試合(13クールの場合) 18,000千円

第5章 利用促進メニューの検討

5-1 村民のスポーツ活動・健康づくり

施設の利用方針（案）を踏まえ、村の別の施設での利用や他地域での事例等を基に、想定される利用促進メニューについて整理する。

種別	利用内容
1-1 スポーツ活動	<p>競技活動</p> <p>バスケット、バトミントン、フットサル、新体操等の団体による活動</p> <p>バスケットボール 25 団体、191 回 バトミントン 7 団体 201 回 フットサル 6 団体、155 回 新体操 3 団体、278 回 (出典) 平成 20 年度北中城村立体育館利用団体一覧</p>
	<p>スポーツイベント</p> <p>バスケットボール、フットサル、バレーボール、卓球等の交流大会、村民健康マラソン</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="475 936 912 1272">  <p>優勝したFAMILY</p> </div> <div data-bbox="925 936 1372 1086"> <p>新春バスケットボール大会には、小学生から 50 代までの幅広い年齢層が集まり、新春の最初のゲームに挑む（北中城中学校体育館）。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="475 1350 928 1496"> <p>新春村民健康マラソンに 300 人余りが参加（中央公民館）。 安谷屋フットサルクラブ主催で、フットサル交流試合を実施（中部の市町村から 8 チームが参加）。</p> </div> <div data-bbox="938 1137 1369 1413">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="475 1653 778 1720"> <p>(出典) 北中城広報_2012 年 1 月・2 月・3 月</p> </div> <div data-bbox="794 1480 1369 1727">  </div> </div>
	<p>運動会（保育園、子供まつり大運動会等）</p> <p>屋宜原保育所、喜舎場保育所、百百保育園、あさひが丘保育園、百登保育園で利用</p> <p>(出典) 平成 20 年度北中城村立体育館利用団体一覧</p>

種別	利用内容
健康・体力づくり	<p>マシンジムによる有酸素運動、筋力づくり、高齢者運動指導</p>  <p>(出典) 兵庫県立文化体育館</p>
子育て	<p>幼児等のあそび場、乳幼児離乳食指導、乳幼児健診</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">1-2 健康づくり</p> <p>健康イベント</p>	<p>健康展、健康フェスティバル</p> <p>健康づくりに関する講演会や展示、健康チェック等（中央公民館） メインアリーナで行われた体力測定会には、親子連れなど、多くの市民が参加。反復横とびや上体起こしなど9種目に挑戦。 （那覇市民体育館）</p>  <p>(出典) 北中城広報_2012年1月・那覇市ホームページ</p>
スポーツ教室・スポーツセミナー	<p>幼児体操、ライトトレーニング、ヨガ、フラダンス、メタボ改善等</p>   <p>(出典) 兵庫県立総合体育館</p>

5-2 スポーツ・地域文化を通じた国際交流

種別	利用内容
2-1 スポーツの国際交流	<p>スポーツ交流会 親善バスケットボール大会</p> <p>琉米高校生友好親善バスケットボール大会（年1回）がキャンプフォスター体育館で開催。北中城高校も出場経験がある。</p>  <p>（出典）米国総領事館（那覇・日本）ホームページ、米国海兵隊公式サイト</p>
	<p>剣道ふれあい道場</p> <p>キャンプ座間周辺(相模原市)において、小学校の児童等による日米剣道ふれあい道場が開催</p>  <p>（出典）防衛省 日米親善交流事業</p>
競技大会	<p>村民と軍人・軍属等とのスポーツ競技大会</p> <p>嘉手納スペシャルオリンピックでは、地元や米軍基地内に住む身体に障害のあるアスリートの競技大会を実施</p>  <p>（出典）嘉手納スペシャルオリンピック</p>
2-2 地域文化の国際交流	<p>音楽イベント 在沖海兵隊音楽隊の祭り等への参加</p> <p>在沖海兵隊音楽隊が地元のお祭り（名護さくら祭り）に参加</p>  <p>（出典）米国海兵隊公式サイト</p>

種別	利用内容
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2-2 地域文化の国際交流</p>	<p>音楽イベント</p> <p>在沖海兵隊音楽隊との交流イベント</p> <p>カテナミドルスクールの生徒たちと第三海兵遠征軍音楽隊が交流イベントを実施。</p>  <p>(出典) 米国海兵隊公式サイト</p>
	<p>文化交流イベント</p> <p>フェスティバル・フリーマーケット等の交流イベント</p> <p>フォスターフェスティバル(年1回)やフリーマーケット(月1回)等において、基地の一部が開放</p> <p>(出典) 在日海兵隊機関紙「大きな輪」(平成24年夏号)</p>
	<p>米軍協力による米エンターテイナーの公演</p> <p>第1回検討会議提案</p>
	<p>地元食材を利用した食文化交流</p> <p>三沢基地周辺(三沢市)で食文化交流</p>  <p>横須賀基地周辺(横須賀市)で高校生による茶道交流</p>  <p>(出典) 防衛白書、広報よこはま第119号</p>
	<p>囲碁、将棋大会</p> <p>新春村民囲碁大会・新春村民将棋大会 (中央公民館)</p>  <p>(出典) 北中城広報_2012年3月・2013年3月</p>

種別	利用内容
2-2 地域文化の国際交流	<p data-bbox="304 331 427 365">文化教室</p> <p data-bbox="469 331 884 365">英会話教室、各種文化セミナー</p> <p data-bbox="488 398 903 488">日米交流センターで「外国人おもてなしセミナー」に横須賀の飲食店主らが参加</p>  <p data-bbox="499 667 727 696">(出典) 横須賀経済新聞</p>

5-3 スポーツ・地域文化振興

種別	利用内容
<p>プロリーグ開催</p>	<p>プロバスケットボール BJ リーグ観戦</p> <p>琉球ゴールデンキングスの観客動員数 2011-2012 一試合平均 2,971 人(過去最高を記録) 沖縄市、宜野湾市、那覇市体育館等で開催</p> <p>(出典) BJ リーグによる活性化(りゅうぎん総合研究所)、琉球ゴールデンキングス ホームページ</p> 
<p>3-1 スポーツ振興</p> <p>全国・県大会の開催</p>	<p>高校総体、九州ブロック国体等、沖縄県総合選手権等 沖縄バスケットボール協会主催試合の積極的開催</p> <p>高校総体：県総合体育館 九州ブロック国体：沖縄市体育館等 県総合選手権：玉城総合体育館</p> <p>(出典) H24 年度 沖縄県バスケットボール協会行事日程表</p> 
<p>各種スポーツ興業の開催</p>	<p>バレーボール、野球、ボクシング、レスリング等のスポーツに関する興業を企画</p> <p>第1回検討会の意見</p>
<p>プロ等の指導</p>	<p>バスケットボールのプロのコーチ、現役選手等による指導</p> <p>通年募集(リーグ戦オフ期間)</p> <p>(出典) 新潟アルビレックス BB ホームページ</p> 

種別	利用内容
3-1 スポーツ振興	<p>プロ等の指導</p> <p>徳洲会病院バレーボールチームによる子供向けバレーボール教室開催</p>  <p>(出典) 徳洲会(宮古島徳洲会病院)ホームページ</p>
プロ等との交流	<p>複合型商業交流施設等とプロ選手とのコラボイベント</p> <p>イオン琉球プレゼンツ 父の日企画 家族で挑戦!! フリースローバトル (H24.6)</p>  <p>(出典) 琉球キングスホームページ</p>
指導者・ボランティア育成	<p>スポーツ活動、子どもの運動、運動大会、事故防止、食育、ボランティア養成等の講座</p> <p>学校体育・社会体育等の関係者への基本的・専門的な知識・技術の習得のための講座を開催</p> <p>(出典) 兵庫県立総合体育館</p>
3-2 地域資源のPR	<p>観光案内</p> <p>中城城跡、中村家住宅等の紹介</p>  <p>(出典) 中城城跡ホームページ</p>
3-3 文化継承・創造	<p>文化活動</p> <p>文化教室、サークル活動、結婚式の余興の練習</p>

種別	利用内容
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3-3 文化継承・創造</p>	<p>文化イベント</p> <p>北中城まつり（村民芸能祭、MIUSIC フェスティバル） 北中城村福祉まつり（ステージイベント、作品展示） 北中城村青年エイサーまつり、産業まつり、物産まつり</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>H24 北中城まつり：しおさい公苑</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>H24 北中城村福祉まつり：中央公民館</p>  </div> </div> <p>H24 青年エイサーまつり：中城城跡</p>  <p>（出典）北中城村商工会ホームページ、北中城広報_2012年11月・12月、北中城村まつり活性化委員会</p>
	<p>成人式、創立記念式典</p> <p>平成 24 年の成人式は、男子 91 人、女子 82 人の計 173 人（中央公民館）</p>  <p>（出典）北中城広報_2012年2月</p>
	<p>生涯学習発表会（サークル作品展示、活動紹介、ライブ） 大正琴サークル発表</p> <p>H23.12 の北中城村老連大正琴サークル 20 周年記念発表会では、会場には 300 人余の観客も訪れ、大盛況のうちに幕をとじた。</p>  <p>（出典）北中城広報_2012年1月</p>
<p>文化継承</p>	<p>文化財展示、村内陶芸家の陶芸展示</p>

5-4 大規模災害時の防災拠点

種別	利用内容
4-1 防災拠点スペース	<p>情報収集・伝達</p> <p>災害対策本部や各避難所等との連絡を行う情報伝達・収集の場（防災（総務課）事務室）</p> <p>情報通信インフラの途絶とともに、庁舎や職員の被災により、自治体能力そのものが低下し、正確な情報を早期に得ることができなかった。また、避難所全体の状況把握に時間を要したため、在宅避難者等に物資供給が行き届かない等の状況が応じた。</p> <p>（出典）東日本大震災における災害応急対策に関する検討会 ―中間とりまとめ―（内閣府）</p>
	<p>衛星通信機器の配備</p> <p>情報通信インフラが被災し影響を受け、電話回線及び携帯電話の通信障害があった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="528 801 938 1055">  <p>出典：国土交通省東北地方整備局</p> </div> <div data-bbox="967 786 1361 1088">  <p>出典：国土交通省東北地方整備局</p> </div> </div> <p>▲衛星通信車</p> <p>▲Ku-SAT（小型衛星画像伝送装置）</p> <p>（出典）東日本大震災教訓集</p>
	<p>支援者対応</p> <p>ボランティア受け入れ・滞在の場</p> <p>避難所運営において、ボランティアに依存せざる得ない状況が発生する一方で、ボランティアの受け入れ体制整備に時間がかかった。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="496 1458 986 1559"> <p>（出典）東日本大震災における災害応急対策に関する検討会 ―中間とりまとめ―（内閣府）、東日本大震災教訓集</p> </div> <div data-bbox="1007 1234 1369 1473">  <p>出典：新潟市「東日本大震災における新潟市の対応」</p> </div> </div> <p>▲ボランティアによる支援物資積込みの様子</p>
<p>支援物資対応</p> <p>支援物資の配分などの支援指示、ストックヤード、輸送手段の集積</p> <p>物流について、県拠点、市町の拠点をどこに設置するか、避難所への配送手段をどうするかなど、事前に具体的な計画がなかったため、避難所への配送が滞った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="496 1872 970 1973"> <p>（出典）東日本大震災における災害応急対策に関する検討会 ―中間とりまとめ―（内閣府）、東日本大震災教訓集</p> </div> <div data-bbox="975 1637 1369 1928">  <p>出典：国土交通省東北運輸局</p> </div> </div> <p>▲宮城県が集積拠点となった民間営業倉庫</p>	

種別	利用内容
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4-1 防災拠点スペース</p>	<p>支援物資対応</p> <p>自衛隊の前線基地、搜索拠点、支援物資の中継場所等としての駐車場の利用</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>出典: 国土交通省東北地方整備局</p> <p>▲自衛隊の前線基地としての利用 (道の駅津山)</p> <p>(出典) 東日本大震災教訓集</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>出典: 山形県</p> <p>▲各県の防災ヘリ、警察ヘリの拠点として活用された山形空港</p> </div> </div> <p>災害活動の拠点として、道の駅や空港、公園等が活用された。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4-2 教育・訓練及び普及啓発</p>	<p>講習・セミナーの開催</p> <p>災害救護セミナー（災害救護学習、無線通信実習、炊き出し食作成等）</p> <p>日本赤十字社東京都支部では、平常時・災害時に赤十字救護ボランティアとして活動することを希望する方を対象とした「赤十字災害救護セミナー」を実施</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>(出典) 日本赤十字社ホームページ</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">4-2 教育・訓練及び普及啓発</p>	<p>防災訓練の実施</p> <p>防災拠点としての訓練の実施</p> <p>日頃からの合同訓練の実施 実践的な防災訓練の実施 要援護者の救助・搬送の訓練 支援物資の調達の訓練 等</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>(出典) 東日本大震災教訓集</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  <p>出典: 国土交通省東北地方整備局</p> <p>▲高台への津波避難路を活用した避難訓練時の様子 (岩手県岩泉町)</p> </div> </div> <p>米軍と連携した避難訓練</p> <p>あらゆる危険を想定した事故対応手順の向上を図る演習コンスタント・ビジランス（在沖米海兵隊バトラー基地）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>(出典) 米国海兵隊公式サイト</p> </div> <div style="width: 35%; text-align: center;">  </div> </div>

種別	利用内容
4-2 教育・訓練及び普及啓発	<p data-bbox="304 320 443 398">防災訓練の実施</p> <p data-bbox="469 320 852 353">米軍と徳洲会病院の合同演習</p>  <p data-bbox="496 712 810 741">(出典) 徳洲会病院ホームページ</p>

5-5 大規模避難所

種別	利用内容			
5-1 被災者対応スペース	救護・被災生活	<p>避難者の主たる受け入れの場</p> <p>負傷者等の応急的な救護活動の場</p> <p>高齢者や障害者等の災害時援護者支援の場</p> <p>避難が長期化した場合の身体的健康維持の場</p> <p>女性や子育てに配慮したスペース確保</p> <p>避難者の休憩・交流の場</p>	<p>物資の提供や避難されている方へのメンタル面での支援、介護を要する方への配慮など、その内容が多岐・多様にわたるとともに、長期に及んだため、必ずしも十分に支援が及ばなかった。</p>  <p>出典：警視庁「東日本大震災に伴う警察活動」</p> <p>▲女性警察官等の避難所への訪問の様子</p>  <p>出典：新潟市「東日本大震災における新潟市の対応」</p> <p>▲避難所における診察の様子</p>	
	防災備蓄倉庫	<p>仮設ハウス、仮設トイレ、燃料(軽油、灯油、ガソリン等)、バックホウ等の機械、日用品(おむつ、布団等)、食料品(粉ミルク、缶詰等)等の救護物資の備蓄</p>	 <p>出典：岐阜市「広報ぎふ」</p> <p>▲避難所で血圧測定を行う職員の派遣(岐阜市→岩手県陸前高田市)</p>	
		防災グッズの紹介・販売・防災情報発信	<p>(出典) 東日本大震災における災害応急対策に関する検討会「中間とりまとめ」(内閣府)、東日本大震災教訓集</p>	
	5-2 防災基盤	非常用電源	再生可能エネルギー(太陽光、風力、地熱、バイオマス、中小水力等)の活用による非常用電源等の確保	
			<p>停電時の施設の稼働、夜間照明の電気を確保する</p> <p>発電所が被災したことにより、停電・電力供給力が減少</p>  <p>出典：経済産業省東北経済産業局</p> <p>▲バイオディーゼル燃料で支援物資を搬送するトラック</p>	 <p>出典：東北電力(株)</p> <p>▲八戸太陽光発電所(青森県八戸市)</p>  <p>出典：新日本製鐵(株)</p> <p>▲バイオマス石炭混焼発電所(岩手県釜石市)</p> <p>(出典) 防災公園技術ハンドブック、東日本大震災教訓集</p>

第6章 実施計画に向けた課題

これまでの検討結果を踏まえ、実施計画に向けた課題を整理する。

6-1 施設整備

項目	課題
施設機能	<ul style="list-style-type: none"> 施設機能は、村民利用、集客利用を促進するメインアリーナと、これらを補完するサブアリーナを基本的な施設として設定した。今後は、施設機能の位置づけを明確化するとともに、関連して整備すべき付帯機能について検討する必要がある。
スポーツ興業	<ul style="list-style-type: none"> BJ リーグやバレーボール等の公式利用を想定するため、これらの有識者等にヒアリングを行い、施設利用に必要な付帯機能について整理する必要がある。 地域文化イベントとして活用を図るため、舞台等、スポーツ以外の施設機能の確保を検討する必要がある。
防災拠点	<ul style="list-style-type: none"> 広域的な防災拠点として、他の公共公益施設との役割分担を含め、本地区に位置付ける防災拠点機能を明確にする必要がある。 災害時には、隣接する複合型商業交流施設や医療施設との連携を想定しているため、一体的な防災拠点としての使い方を検討し、関係者と調整する必要がある。 災害時の炊き出し等で調理場が活用可能な給食センターの併設を検討する必要がある。
避難所	<ul style="list-style-type: none"> 本施設を地域防災計画での避難所等として位置づけるとともに、想定避難者数を算出した上で、必要な避難スペースを確保する必要がある。 備蓄倉庫、自然エネルギーを活用した非常用電源施設の整備等も合わせて検討し、非常時にも機能する施設として計画する必要がある。 炊き出し等の温食を提供する施設についても検討する。
施設配置・規模	<ul style="list-style-type: none"> 施設配置・規模は、利用方針を踏まえて、将来的な財政規模や利用者のニーズに対応したものにすることが重要である。そのため、村民利用及び集客利用を想定し、施設利用に精通する有識者の意見を反映するとともに、財政的なチェックを行い、個別施設の配置・規模の計画に反映する必要がある。
アリーナスペース	<ul style="list-style-type: none"> アリーナは、多様なスポーツ興業に対応するため、バスケットボール、バレーボール、フットサル等の公式大会に対応し

項目	課題
	<p>た施設規模の確保を検討する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> サブアリーナの舞台の必要性の有無について、整理する必要がある。
健康増進スペース	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進スペースは、村の施策として検討されてきたものでもあるため、庁内の関係部署の意見を踏まえつつ、健康増進に必要な機能、規模について定める必要がある。
観客席	<ul style="list-style-type: none"> 観客席数は、建築のスペック（構造・コスト等）に大きく影響するため、施設利用の想定を踏まえ、観客需要に見合った規模になるよう留意する必要がある。 サブアリーナの観客席の必要性の有無について、検討する必要がある。
敷地整備	<ul style="list-style-type: none"> 周辺道路と敷地の間に高低差があるため、施設利用者の動線計画と合わせて各敷地の高さ設定を検討する必要がある。
動線	<ul style="list-style-type: none"> 平常時の賑わい創出や災害時の防災拠点機能確保のためには、周辺施設との連携が重要である。そのため、隣接する複合型商業施設を含めたアクセス、歩行者回遊動線の整備等を検討し、計画に反映する必要がある。 アリーナの出入りに渋滞をまねかぬよう、村道（区画道路）の右折レーンについても検討する必要がある。
植栽環境	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設より俯瞰される位置となるため、屋上緑化等、景観等にも配慮した植栽整備を検討する必要がある。 雨水の利用、雨水の地下浸透についても検討する必要がある。 環境負荷の低減を図るため、廃棄物の分別ヤードの整備について検討する必要がある。

6-2 管理運営

項目	課題
管理運営方式	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営にあたっては、より積極的な民間活力の活用が望まれる。そのため、管理運営方式は、利用の想定に対応し、民間と公共が連携して適切なサービスが継続的に提供できるよう、管理のしくみ、契約条件等を検討し、管理運営方式を決定していく必要がある。
村負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> 村の負担軽減に向けては、収益性の向上とコスト削減を両立する管理運営のしくみを構築することが重要である。そのため、収益性の向上とコスト削減の両面から具体的な方策の検討を行い、管理運営方式に反映する必要がある。
収益性向上	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営の事例視察や管理運営の専門家からのヒアリング等を実施し、収益向上につながるしくみを契約条件等に反映していく必要がある。
コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> 現在村で管理している施設の一元管理の可能性や管理する具体施設について検討し、施設管理者と協議調整を行う必要がある。

参考資料

参考－1 検討会議の実施

利用促進方針を検討するため、有識者、村民代表等で構成する検討組織を構成し、検討会議を検討した。

(1) 実施概要

項目	内容	
会 名 称	北中城村多目的アリーナ利用プログラム検討会議	
開催日時	平成25年2月19日 午後2時～4時	
	平成25年3月25日 午後2時～4時	
開催場所	北中城村役場 第二庁舎4階 第三会議室	
委 員 員	花崎 為継	北中城村議会 議長
	安里 邦夫	北中城村商工会 会長
	吉村 正夫	アワセ土地区画整理組合設立準備会 委員長 アワセゴルフ場地権者会 会長
	伊佐 常助	北中城村軍用地等地主会 会長
	平安山 秀雄	米国総領事館 政治担当特別補佐官
	日越 延利	沖縄県バスケットボール協会 副理事長
	高嶺 晃	駐留軍用地跡地利用計画プロジェクトマネージャー
議 題	第1回	① 対象地区の特性と課題 ② 必要とされる施設機能 ③ 計画の方針（施設利用プログラム）
	第2回	① 第1回会議での意見まとめと検討方針 ② 多目的アリーナの施設利用方針 ③ 利用想定に対応した必要な施設 ④ 施設の管理運営方式の比較

(2) 主な意見のまとめ

① 第1回（テーマ：多目的アリーナの使い方をどうするか）

論点	第1回検討会議の意見まとめ
<p>[論点1] 多目的アリーナの目的を集客施設とするのか、村民サービスの一環とするのか。また、スポーツ特化とするか、文化利用併用とするか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・村民体育館の代替え、防災機能は最低限必要 ・施設の利用パターン複数準備する中で、利用方針を検討してはどうか。 ・5千人規模の観客収容だと使い勝手が非常に良い施設となる。
<p>[論点1-①] 集客施設として利用すると、村民が利用できなくなるのではないか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サブアリーナを併設することで解決できないか。
<p>[論点1-②] スポーツと文化利用の併用を行うとかえって使いにくいものにならないか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あやかりの杜等との分担が考えられないか。
<p>[論点2] 村の管理料を軽減するにはどうしたらよいか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・村民中心だけでは、維持管理費が大変になるのではないか。 ・村の持出しが少ない形を業務の中で検討していきたい。
<p>[論点2-①] スポーツ振興・活性化と維持管理費軽減を両立できないか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールは、他地域との差別化、日米との関係を含め、大きな柱になるのではないか。 ・バスケットをメインとしつつも、バレー、レスリング等様々な興業を行ったらどうか。 ・国際的な音楽公演の場として利用できないか。 ・ネーミングライツで収入を得る方法もある。

② 第2回（テーマ：多目的アリーナに必要な施設をどうするか）

論点	第2回検討会議の意見まとめ
<p>[論点1] 多目的アリーナに必要な施設をどうするか。メインアリーナのみとするか、サブアリーナ併設とするか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サブアリーナ併設に絞って進めた方がよいのではないかと。
<p>[論点1-①] ・施設が大きいのはよいが、問題は維持費であろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイレベルなスポーツイベント興業はそれ自体が大きな村民サービスになるため、村のある程度の負担はやむを得ないのでは。 ・健康増進施設は、村の施策上、従来から必要な施設であった。
<p>[論点1-②] ・建物を大きくすること、駐車場を縮小することは相矛盾するのではないか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンモールの駐車場利用を想定している。イオンの担当者からもジュース1本でもお客様という意見をもらっている。
<p>[論点2] 施設の管理運営をどうすべきか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営の形をどうするかを議論するよりも、利用の仕方を先に決めた方がいいのではないかと。 ・多目的アリーナとしての利用方向性が定まれば、おのずと運営の方式は決まってくるのではないかと。
<p>[論点2-①] 管理運営方式をどうすべきか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業と村が一緒になって第3セクターを設立して管理運営する方法もあるのではないかと。

参考-2 有識者ヒアリングの実施

管理運営面を考慮した利用方針を検討するため、施設管理運営の専門家から、施設整備や管理運営上等の留意点についてヒアリングをおこなった。

ヒアリング対象：(株)ミズノ株式会社 スポーツ施設サービス部
ヒアリング日：平成25年3月5日

テーマ1. 多目的アリーナの使い方をどうするか

村民体育館の代替え、防災機能は最低限必要。これを踏まえつつ、プラス α の使い方をどうするか検討が必要。

ヒアリング結果まとめ

[論点 1]多目的アリーナの目的を集客施設とするのか、村民サービスの一環とするのか。また、スポーツ特化とするか、文化利用併用とするか。

[論点 1-①]集客施設として利用すると、村民が利用できなくなるのではないか

(ヒアリング結果まとめ)

- ・需要予測がないため、集客利用＝メイン＋サブとはならない。
- ・BJリーグ開催時は、施設を丸貸ししている。リーグ開催時のサブアリーナの一般利用には、観客、選手、利用者等の動線の仕分けが必要。
- ・村民利用が〇割、集客利用が〇割という打ちだしが必要。
- ・コスト削減追求よりも、経費もかけるが収益を経費以上に上げる利用方法を提案する。
- ・採算性を重視したばあいのデメリットは、公平性・平等性が損なわれるおそれがあること。

[論点 1-②]スポーツと文化利用の併用を行うとかえって使いにくいものにならないか

(ヒアリング結果まとめ)

- ・最大効率、最大稼働のためには、スポーツに特化せず、文化活動や催事利用等も考えるべき。
- ・キッズルームや野外コートは施設利用促進の効果が期待できる。

[論点1 - ①]

集客施設として利用すると、村民が利用できなくなるのではないか

質問事項	ご意見等
<p>メインアリーナにサブアリーナを併設するデメリットはどのようなことがあげられますか？(維持管理コスト増他)</p>	<p>まだ、需要予測がないため、集客施設＝メイン＋サブ必要とはならない。</p>
<p>BJリーグ開催時に地域の施設利用は、どの程度制限していますか？(サブアリーナ、多目的室、トレーニングルーム、会議室等)</p>	<p>BJリーグを開催する場合は、丸貸ししている。そのため、開催中の施設利用はできない。 BJリーグ開催中でもサブアリーナやトレーニングルームの施設利用を可能とするには、観客と利用者（村民）の動線を仕分けする必要がある。選手等の大会関係者の動線確保も必要。</p>
<p>・村民メインの利用を重視する場合、BJリーグ他、収益事業で負担軽減を目指すという考え方はさけた方がよいでしょうか。 (管理運営を利用方針の判断基準の1つとしない方がよい?) 必要最低限の機能で人員、維持管理コストを極力少なくし、可能な収益事業に対応していくという考え方がよいでしょうか。</p>	<p>・村民メイン＝365日×〇〇%である、という打ち出しが必要。この施設のポジショニングは、村民をメインに考えながらも県民～全国の利用も目論む為、その〇〇%はBJリーグ他、賑わい創出事業を誘致したい。 ・省人化・効率化は必要ですが維持管理コストの縮減ばかりを望まないでほしい。経費もかけるが収益も経費以上にあげる方針案でどうか？</p>

[論点 1-②]

スポーツと文化利用の併用を行うとかえって使いにくいものにならないか

質問事項	ご意見等
<p>スポーツ特化か、文化交流ミックスか、管理運営上どちらのメリットが大きいでしょうか、又その理由は？</p>	<p>最大効率、最大稼働のためには、スポーツに特化せず、文化活動や催事利用等も考えるべき。 あやかりの杜とは、施設規模が違うため、住み分けできるだろう。</p>
<p>文化交流の機能も加える場合、施設機能としてどのようなものが必要でしょうか？</p>	<p>舞台、楽屋など (舞台については、昇降型の収納ステージも考えられる)</p>
<p>提案*1(9/9)にあるコミュニティルーム(談話室、キッズルーム)、野外コートは運営上どのような効果がありました(期待できます)か？ *1:2012/11/1付 提案資料</p>	<p>コミュニティルームは、利用促進のための施設と考えている。例えばキッズルームは、小さな子供のいる母親が利用しやすくなる。(北谷町健康トレーニングセンターでは好評) 野外コートは、駐車場の有効活用のアイデアとして提案した。常に満車にはならないと想定し、ゴールが設置されていたりコートのラインが引いたりされていれば、そこで3on3等の簡単な運動ができる。また、アリーナ内で行っている競技やイベントの一部を外から見える場所で行うことで、周知を図ったり雰囲気「盛り上げたりすることができるのではないか。</p>
<p>飲食、宿泊、子育て等の機能をあやかりの杜や複合商業施設と重複するため、除外を考えていますが、例えば子育て等の機能は不可欠でしょうか？</p>	<p>体育館等の施設内飲食店の利用率は一般的に低い。日常的に利用されることが少なく、土日限定営業になっているケースもある。イオンモールとの連携で、ケータリングという方法も考えられるのではないか。 アリーナ施設内に宿泊施設の必要性は少ない。 子育て機能とは、子ども向けの運動教室等を専門のスタッフを置いて行うことをイメージしていた。</p>

テーマ 2. 施設の管理運営をどうしたらよいか

利用の想定と合わせ、施設運営の採算性の確保が必要。また、管理運営の方針についてあらかじめ施設管理者の視点を踏まえた検討が必要。

ヒアリング結果まとめ

[論点 2] 村の管理料を軽減するにはどうしたらよいか

[論点 2-①] スポーツ振興・活性化と維持管理費軽減を両立できないか

(ヒアリング結果まとめ)

- ・バスケットはもちろんのこと、様々な興業を行うことを考える必要がある。
- ・BJ リーグ開催で収支がプラスになったとしても体育館の運営全体で儲かることにならない。
- ・BJ リーグは、エンターテイメント空間として、照明や音響を必要とする。優れた音楽を聴かせることが目的のイベントを行うのは難しい。
- ・ネーミングライツのスポンサーにとっては、テレビ等で露出機会の多い施設であることが重要となる。

[論点 2-②] 事業収支はどういう仕組みになっているのか

(ヒアリング結果まとめ)

- ・支出は、施設の大きさとある程度相関関係にある（人件費、光熱費など）。
- ・収入は、指定管理料＞利用料金＞自主事業の順。
- ・指定管理料は、自治体（村）の考え方しだい。安く市民に利用してもらいたいということであれば、指定管理料が大きくなる。

[論点 3] 管理運営のしくみをどうすべきか

[論点 3-①] 村民の施設利用サービスをどう高めるか

(ヒアリング結果まとめ)

- ・村民の意見がある程度集約される機会をつくり、この要望に応える運営であれば、村民サービス向上が可能。

[論点 3-②] 管理運営体制構築に向けてどのような準備が必要か

(ヒアリング結果まとめ)

- ・施設の方向性を明確にする必要がある。その方向性によって、施設の設計から変わる。

[論点 2] 村の管理料を軽減するにはどうしたらよいか

[論点 2-①]

スポーツ振興・活性化と維持管理費軽減を両立できないか

① バasketボールを柱とした管理運営のしくみ

質問事項	ご意見
BJ リーグを行える施設をつくる場合、村民利用より大規模な施設となりますが、管理運営上のデメリットが発生しますか？	施設が大きくなるため、空調の利用料が高くなる。 スタッフの人数が増える。(スタッフの人数に対する適切な規模がある)
観客席を3千人から5千人に増やす場合、管理運営上どのようなデメリットが想定されますか？	BJ リーグのこれまでの最大の観客動員数が仙台89ERSの約5000人。ゼビオアリーナのこけら落としの試合だったので特殊な数字と言える。 観客動員数の多いキングスといえども、5000人入る試合は少ないのではないか。これまでのキングスの観客動員数は1試合当たり2500~3000人である。 また、BJリーグのホームゲームの試合数は限られている。 5000人規模の観客を動員できる他のイベントの誘致が必要となる。
BJリーグ開催時にホワイエ併設といったサブアリーナの使い方は可能でしょうか？	難しいだろう。 BJリーグ開催時には、グッズ販売等を行ったりする観客のたまり空間(ホワイエ)が必要である。 BJリーグ開催時に一般利用ができるサブアリーナにするには、観客と一般利用者の動線を分ける必要がある。 観客は土足で入場するのに対して、アリーナは上履きで利用するという違いもある。

② 様々な興業実施の可能性

質問事項	ご意見
様々な興業を行うことの弊害はありますか？	逆に、様々な興業を行うことを考える必要がある。 Vリーグ(バレー)、Fリーグ(フットサル)、ハンドボール等の大会を呼べる機能が必要と考える

③ 国際的な音楽公演利用

質問事項	ご意見
音響を考えた施設整備のデメリットは？	<p>BJ リーグは、エンターテインメント空間として、照明や音響を必要としている。</p> <p>「国際的な音楽講演」のような優れた音楽を聴かせることが目的のイベントを行うのは難しい。</p> <p>音楽イベント用の音響設備のある体育館は少ない。</p> <p>収用人数が3千人程度ではメジャーな歌手等は呼べない。</p>

④ ネーミングライツの適用

質問事項	ご意見
ネーミングライツは、本施設での適用する場合、どのような取り組みが有効と考えますか？	<p>テレビ（ニュース）等で紹介されることで認知度が上がるので、スポンサーにとっては、テレビ（ニュース）等で露出機会の多い施設であることが重要となる。</p> <p>業績不振でスポンサーが更新に応じない場合、看板の掛け替え等の手間が生じる。</p>
その他広告事業等の可能性はありますか？	<p>壁面広告は、導入できる可能性がある。ただし、村の施設なので議会承認が必要。</p>

[論点 2-②] 事業収支はどういう仕組みになっているのか

① 利用料や自主事業の収入を高める工夫

質問事項	ご意見
利用料収入を高める有効な事業はどのようなものが挙げられますか？また、その成功事例は？	<p>日常利用と非日常利用をそれぞれ想定する必要がある。</p> <p>日常利用：月謝性のスクール等（その会員数を増やすことで収入アップになる。）</p> <p>非日常利用：様々な大会の誘致</p>
採算性を高めるために弊害になっていることは何かありますか？	<p>採算性を重視すると、公平性、平等性が損なわれること。</p> <p>村民が満足する利用環境を維持する工夫が必要。</p> <p>スクール利用と時間を分ける等。</p>
自主事業として効果のある事業はどのようなものがありますか？	<p>日常的な健康づくりの拠点として活用すること。</p> <p>ジュニア育成（バスケットに限らず、サッカー、テニス等のプロ選手によるクリニックの開催等）</p> <p>→スポーツのすそ野を広げることが、将来的な需要につながる。</p> <p>高齢者向けのプログラムや、交通手段の確保</p>

② 利用者を考慮した料金体系の工夫

質問事項	ご意見
土日、平日の稼働率は？	<p>一般的には、</p> <p>土日は、100%に近い。平日は、30%以下。</p>
平日利用を促進するための工夫はどのようなことがあげられますか？	<p>利用を定例化させる</p> <p>（毎週同じ時間に特定のプログラムを実施する）</p> <p>キッズルームの開設</p> <p>（小さな子供のいる母親の利用促進）</p> <p>村内小中学校の課外授業や交流イベントに利用</p> <p>平日と休日、村民と村民以外、営利と非営利、などで利用料金に格差をつける。（村議会での承認が必要）</p>

③ 事業支出

質問事項	ご意見
参考資料*2（3/11）にある支出金額の違いの要素は？ *2：2012/12/18付 参考資料	施設の規模や、設備の新旧、空調の有無、などによって違いが出ていると思われる。（設備が古い方が維持管理費用は高い）
アワセ地区を想定した経費は、参考資料*2（3/11）の平均単価が目安となりますか？その他目安となる資料はありますか？	大阪中心の事例なので、沖縄県内の事例を参照すべき。

④ 人件費等のコスト

質問事項	ご意見
・参考資料（3/11）にある体育館の運営人員 10 名となっていますが、どういう役割の人がそれぞれ何名ぐらいずつ必要なのでしょう	アリーナの規模・諸室の役割（提供するサービスなど）により人員に増減がありますが 一般的に①受付 2-3 ポスト②総務・経理・企画 1-2 ポスト③アリーナ諸室内 運営・指導ポスト 3-10 ポスト④警備清掃常勤ポスト 2-3 ポスト⑤館長・副館長各 1 ポスト ※早番・遅番があるとおもわれるのでポスト数で示しました。
（パターン 1） ・利用は村民、集客の両輪 ・施設は、メインアリーナ、サブアリーナ、トレーニングルーム、多目的室、会議室配置 （パターン 2） ・利用は村民メイン ・施設は、パターン 1 からサブアリーナをなくす でそれぞれ、運営人員は何人ぐらいが一般的でしょうか	あくまで一般論ですが 順番に パターン 1 上記より 10 ポスト～20 ポスト（20 も不要だと思いますが） パターン 2 上記より 8 ポスト～12 ポスト（運営指導ポストはどれぐらいのプログラムを常時提供するかにより変動します）

⑤ 事業収入

質問事項	ご意見
収入に対する指定管理料、利用料金収入、自主事業の割合どのような範囲が多いですか？	<p>大小で示すなら、 指定管理料＞利用料金＞自主事業 利用料金収入が大きくなるのが理想である。</p>
指定管理料はどのような条件（費目）で決まっていますか？	<p>自治体（村）の考え方しだい。 とにかく安く市民に利用してもらいたいということであれば、指定管理料が大きくなる。 新設する体育館であるので、新しく条例を定めることができるため、利用のメインをどこに置くのかを考えて設定すべき。</p>
BJ リーグの1回あたりどれくらいの収入が見込めますか？（試算のようなイメージでよいでしょうか？）	<p>想定できる入場料収入から逆算して考える必要がある。 BJ リーグ開催では収支がプラスになったとしても体育館の運営全体で儲かることない。</p>

[論点 3] 管理運営のしくみをどうすべきか

[論点 3-①] 村民の施設利用サービスをどう高めるか

① 管理者と村民等の関わり

質問事項	ご意見
管理運営方針として、村民が利用しやすいよう、村民が管理運営に意見が言える仕組みを検討していますが、運営がよくなる効果は期待できますか？	わがままな願いが多く ひとつひとつ対応していると費用や苦情が発生。村民の意見がある程度集約される機会をつくり この要望に応える運営であれば ok。

② 周辺施設との連携の可能性

質問事項	ご意見
医療機関と連携した健康プログラムの実践等、健康づくりの取り組みは何かされていますか。また、そのようなニーズは高いですか？	厚生労働省の健康日本 21 という取り組みの方針に沿うように取り組んでいる。 医療機関との連携は行っていない。(お金がかかる)

③ 災害時の施設利用

質問事項	ご意見
施設の管理は、行政管理の部分もありますか？	管理を分けることはないが、例えば備蓄倉庫内の水や非常食等の運用は別（行政）である。 災害時の対応の指揮権は、施設管理者ではなく行政にある。
避難所等に指定されている場所について、災害時の施設利用の行政との役割分担はどのようになっていますか？	あらかじめ行政との間で明文化させておく必要がある。 行政によって対応はまちまち。 日常的な災害対策の訓練には協力する。
現状の体制において、災害時の避難所利用等に問題になりそうなことはありますか？	災害のレベルによって対応は異なる。 イオンモールと役割分担ができれば、質の高い避難施設となる。

[論点 3-②]管理運営体制構築に向けてどのような準備が必要か

① 民間企業の参画しやすい環境整備

質問事項	ご意見
<p>施設整備にあたり、計画段階から留意することは？</p> <p>① メンテナンスのしやすさ ② ユニバーサルデザイン ③ 人と車の動線 ④ 施設のデザイン ⑤ 公式大会への対応 ⑥ 環境配慮</p>	<p>施設の方向性を明確にする必要がある。 その方向性によって、施設の設計から変わる。 村からはバスケットボールの聖地にしたいという話もきいている。</p>
<p>管理運営にあたり、計画段階から留意することは？</p> <p>① 管理運営のしくみ ② 村民のとの関わり方 ③ 災害時の対応</p>	<p>体育館の目的をはっきりさせ、施設規模を決めるためにニーズ調査等を行い、条件を出す必要がある。 また、主に利用する種目の想定、スポーツ以外の利用方法の想定が必要である。 それらによって、管理運営の概要が分かる。 比較的近接している、県立総合運動公園の体育館、沖縄市立体育館との住み分けも必要。 村民利用だけを充てにすることはできない。 スポーツツーリズム（スポーツツアー、合宿利用等）としての活用も考える必要がある。 プロ選手による指導は、中期的に行っていく必要があると考えている。</p>
<p>収益事業や地域との交流等、先進視察候補地として参考となる施設はどこにありますか？</p>	<p>最近開催された国体施設、またはこれから開催される国体施設（岐阜、長崎等）が参考になるのではないか。 ミズノの運営実績から挙げるなら次のような施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞洲アリーナ（大阪） ・堺市原池公園体育館 ・いきいきランド交野 ・熊本県立体育館 など

参考－3 体育施設の事例の整理

多目的アリーナは、村民のスポーツ活動の場や災害時の防災拠点としての利用と合わせ、バスケットボールを核とした地域活性化のための施設利用を想定していることから、バスケットボール利用に視点をおき、体育施設事例を整理する。

(1) 県内の体育施設の整備概要

バスケットボール大会等での施設利用の参考として、沖縄県バスケットボール協会主催の大会が開催されている県内の体育施設について、事例を整理する。

施設名		沖縄県総合運動公園体育館	沖縄県立武道館(奥武山総合運動場内)	那覇市民体育館	宜野湾市立体育館
築年次		昭和 62 年	平成 7 年	—	昭和 61 年
敷地面積 (㎡)		70.4ha (公園全域)	29.8ha (公園全域)	—	—
アリーナ メイン	広さ (㎡)	—	2,142	2,200	1,917
	バスケットボール	2	2	3	2
	バレーボール	4	2	3	3
	観覧席(席)	1,516	1,994	3,000	1,500
アリーナ サブ	広さ (㎡)	1,209	—	734	—
	バスケットボール	—(不可)	—	1	—
	バレーボール	—(不可)	—	2	—
	観覧席(席)	—	—	—	—
健康	トレーニング室	○	○(350 ㎡)	○	○
	多目的室	—	○	○	—
	軽スポーツ室	—	相撲場	卓球室	—
その他		シャワー室、放送設備、照明設備、駐車場(公園全体)982 台	武道場(柔道、剣道、1 階:約 420 ㎡、2・3 階:約 550 ㎡(観覧席:180 席)、選手控室、研修室:98 ㎡、会議室:80 ㎡	シャワー室、選手控室、会議室(第 1～3)、放送設備、駐車場約 280 台	シャワー室、更衣室、会議室、放送設備
設計者		—	アリア・環設計・設計集団 閃・設備研究所 JV	国建	国建 設備研究所 JV

施設名		沖縄市体育館 (コザ運動公園内)	本部町民体育館	今帰仁村民体育館 (村総合運動公園内)	宜野座村営体育館
築年次		平成 22 年	—	—	昭和 59 年
敷地面積 (㎡)		270,000 (公園全域)	—	—	—
アリーナ メイン	広さ (㎡)	2,298	—	—	—
	バスケットボール	3	3	2	3
	バレーボール	4	4	2	3
	観覧席 (席)	2,123	—	150	○
アリーナ サブ	広さ (㎡)	—	—	—	—
	バスケットボール	—	—	—	—
	バレーボール	—	—	—	—
	観覧席 (席)	—	—	—	—
健康	トレーニング室	—	○	○	○
	多目的室	○	—	—	—
	軽スポーツ室	—	—	—	—
その他		多目的ホール、シャワー室、更衣室、放送設備、医務室	シャワー室、会議室	シャワー室、更衣室、会議室、談話コーナー、児童コーナー、駐車場(公園全体)208台	シャワー室、選手控室、会議室、放送設備、談話室、休憩室、ギャラリー
設計者		建築研究室匠齋庵、ウイング設計、GA設計JV	長谷部建築研究所	国吉設計	伊波設計

(2) 視察候補地

プロスポーツイベント利用及び先進地視察候補地の参考として、全国のBJリーグのチームがホームアリーナ（各チームの最も多く試合が開催される会場）や近年の国体の会場として利用している体育施設のうち、施設規模が類似する事例を整理する。

施設名		新潟市東総合スポーツセンター	松江市総合体育館	高松市総合体育館
指定管理者		新潟市開発公社	株式会社島根東亜建物管理	財団法人高松市スポーツ振興事業団
築年次		平成 10 年	昭和 51 年	昭和 61 年
敷地面積 (㎡)		30,164	17,242	20,159
アリーナ	広さ (㎡)	1,826	1,820	2,052
	バスケットボール	2	2	2
	バレーボール	3	4	3
	観覧席 (席)	3,120	1,339	5,000
アリーナ	広さ (㎡)	816	609	1,008
	バスケットボール	1	1	1
	バレーボール	1	1	2
	観覧席 (席)	40	0	0
武道場	広さ (㎡)	—	—	第 1 : 447、第 2 : 483
	柔道	—	—	○
	剣道	—	—	○
健康	トレーニング室	○(374 ㎡)	○(100 ㎡)	○
	多目的室	—	—	卓球場(5 台)
	軽スポーツ室	クライミングルーム、ランニングコース 1 周 200m	フィットネスルーム、室内プール	和弓場、アーチェリー場
サポート	シャワー	○	—	○
	選手控室	○	—	○(第 1・2 各 42 ㎡)
	更衣室	○	○	○(男女各 12 ㎡)
	研修室	○	○	—
	放送設備	—	○	○
	会議室	○	○(No.1 : 70 ㎡、No.2~4 : 20 ㎡)	○(第 1・2 : 25 ㎡、第 3 : 36 ㎡、第 4 : 20 ㎡、第 5・6・7 : 126 ㎡(各 42 ㎡))
交流	交流・休憩スペース	—	○(談話室)	○(ビール、イソトリスホール、休憩所)
	飲食スペース(カフェ)	—	○(売店)	○(自販機)
子育て	キッズルーム	○(こども広場)	—	○(幼児体育室内 : 54 ㎡)
屋外	駐車場(台)	434	298	226
	屋外ステージ・広場	トリムコース(タータリ敷き) 1 周 500m	—	—
その他		—	—	調光室、給湯室

施設名		アクト福岡 (福岡県立スポーツ科学 情報センター)	宮崎県体育館	飛騨高山ビッグアリーナ
指定管理者		財団法人福岡県 スポーツ振興公社	財団法人宮崎県 スポーツ施設協会	財団法人高山市 体育協会
築年次		平成 7 年	昭和 43 年	平成 12 年
敷地面積 (㎡)		22,900	15,975	30,106
アリーナ メイン	広さ (㎡)	1,794	1,700	2,200
	バスケットボール	2	2	2
	バレーボール	2	3	3
	観覧席 (席)	2,000	2,445	1,984
アリーナ サブ	広さ (㎡)	884	621	840
	バスケットボール	1	1	1
	バレーボール	2	1	2
	観覧席 (席)	0	0	0
武道場	広さ (㎡)	—	各 432(2 部屋)	852
	柔道	—	○	4 面
	剣道	—	○	4 面
健康	トレーニング室	○	—	○
	多目的室	○390 ㎡	—	○
	軽スポーツ室	クライミングウォール、ボルダリングウォール	登攀壁(サブウォール(室内))	クライミングウォール、弓道場
サポート	シャワー	○	○	—
	選手控室	—	—	—
	更衣室	—	—	○
	研修室	—	—	—
	放送設備	○	○	—
	会議室	○	○	○
交流	交流・休憩スペース	○(展示・資料閲覧コーナー、リラクゼーションルーム)	—	○(情報コーナー)
	飲食スペース(カフェ)	○(レストラン、自販機)	—	○(ラウンジ)
子育て	キッズルーム	○ (幼児コーナー)	—	○(こども体育室)
屋外	駐車場(台)	239	242	210
	屋外ステージ・広場	—	登攀壁(メインウォール(屋外))	—
その他		事務室、健康体力測定室、宿泊室、洗濯室	—	大会本部席、調整室、医務室

北中城村まちづくり基本計画
(報告書)

発行 平成 25 年 3 月

編集 北中城村役場 建設課
〒901-2392

沖縄県中頭郡北中城村字喜舎場 426 番地 2
TEL 098-935-2233 / FAX 098-935-5536

業務委託 玉野総合コンサルタント株式会社 沖縄事務所
